

令和 6 年度

別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事

監 修	輪 島 市 建 設 部 ま ち づ く り 推 進 課
	年 月 日



[illegible]

⑫

排出ガス対策型建設機械

次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。

1) バックホウ

2) トラクターショベル

3) 発動発電機

4) 空気圧縮機

5) ローラ類

6) ホイールクレーン

⑦

創意工夫等

工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

⑬

保険の付与及び事故の補償

1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。(法定外の労災保険を含む)

3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。

⑭

電子納品

※行う(「電子納品仕様書」による。)○行わない

電子納品仕様書

1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。

ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

名 称
営繕工事電子納品要領 (令和3年版)
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年版)

基準・要領類のダウンロード [http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild\\_tk2\\_000017.html](http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html)

2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBD-Rで1部納品する。

3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。

工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議に決定する。

4 発注者が行うGALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。

⑮

騒音振動の防止

低騒音〔G〕、低振動型建設機械を使用する。

⑯

隣接建物又は工作物の調査

※行う○行わない

⑰

敷地の状況確認

着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がない関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。

⑱

総合評価時ににおける技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出のうえ、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。

⑲

ダンプトラック等による過積載等の防止

1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようにすること。

4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5) 建設発土生の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(昭和42年8月2日法律第131号。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進すること。

7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

⑳

景観への配慮

当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。  
災害復旧工事・適用除外事業

項 目

特 記 事 項

①

工事用水

構内既存の施設  
・利用できる(※有償・無償) ※利用できない

②

工事用電力

構内既存の施設  
・利用できる(※有償・無償) ※利用できない

③

工事用道路

工事用道路(敷地内外)は良好なる維持管理を行い、使用後は請負者において速やかに原形に復旧すること。

4

指定仮設

指定仮設の適用・仮囲い・敷鉄板(※図示)  
  
仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散等しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受けること。  
イ) 材料・鋼板・亜鉛波形状鉄板・単管バリケード  
ロ) 高さ・1.8m・2.0m・3.0m  
ハ) 塗装・する・しない・塗装品  
ニ) 延長・m  
その他の指定仮設(種別、規格、仕様)

⑤

足場その他

1) 外部足場 [2.2.1]

(1) 足場の種類

※枠組本足場(手すり先行足場)

・くさび緊結式足場(手すり先行足場)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

(2) 建枠・布枠

建 枠	○1. 200枠	・ 900枠	・ 600枠
布 枠	・ 500布枠×2枚	※500+240布枠	・ 500布枠×1枚
		・ 500布枠×1枚	

(3) 防護シート等による養生

※設置する※ネット養生シート又は養生シート

・設置しない・防音パネル なお、出入口等の上部は必要に応じて防護網を設ける。

2) 内部足場 [2.2.1]

種 別・※きゃつ、足場板等

3) 材料、撤去材の運搬方法 [2.2.1][表2.2.1]

・A種	※B種	・C種	・D種	・E種
-----	-----	-----	-----	-----

⑥

既存部分の養生

既存部分の養生方法・※ビニールシート等

既存養生等の養生・※ビニールシート等

既存ブラインド・カーテン等の養生方法、保管場所・図示

固定された備品、机、ロッカー等の移動・行う(図示)

7

仮設間仕切

1) 仮設間仕切り種別 [2.3.2][表2.3.1]

種 別	下 地	仕上げ材 (厚さmm)	充 填 材	塗 装
・A種	※軽重鉄骨	※せつこうボード (※9.5)	厚 さ ( )	※無し
・B種	木造	・合板 (※9)	・	・有り
※C種	単管	防炎シート	・行う	※無し
仮設扉	※木製扉	合板張り程度	厚 さ ( )	・有り

⑧

監督員事務所

※設ける・既存建物の一部を使用○設けない

監督員事務所の規模 (m<sup>2</sup>)

種 別	・1号	・2号	・3号	・4号	・5号
面 積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督職員事務所に設ける備品等

※保護帽※塗落防止用具※長靴※合羽※原因図及びA3縮小の設計図面製本各2部

※机※椅子※懐中電灯・書棚・黒板・寒暖計・

※10人程度の会議が行えるスペースを設ける。

・快適トイレを設置すること

⑩ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる

快適トイレを設置した場合は設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。

⑨

危険物貯蔵所

シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。 [2.4.2]

11

仮設物撤去他

原形復旧の方法・内容・ [2.5.1]

⑪

公衆災害防止等

建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)及び建設副産物適正処理推進要綱等関係規定を順守して災害の防止に努めることとする。

3章 防水改修工事

特 記 事 項

1

一般事項

降雨等に対する養生・ [3.1.3]

改修工法の種類・ [表3.1.1]

2

アスファルト防水

1) 防水改修工法の種類 [3.3.3]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水工法の種類
保護防水	・P1B ・P1B1 ・T1B1 ・P2A1 ・P2A	・B-1 ※B-2 ・B1-1 ※B1-2 ・A1-1 ※A1-2 ・A1-1 ※A1-2 ・A-3
露出防水	・M4C ・P0D ・P0D1 ・M4D1	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 ・D-1 ※D-2 ・D1-1 ※D1-2
屋内外防水	・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2

2) アスファルトの種類 ※3種・4種 [3.2.2][3.3.2]

3) 二重ドレン・設ける(・P0D工法・P0DI工法) [3.2.5]

4) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4C工法、M4D1工法) ・行う [3.2.6]

5) 断熱工法の断熱材の厚さ (mm) ※25・ [3.3.2]

断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること

6) 立上り部防水層保護

・市販品のれんが、又はれんが形コンクリートブロック (見え隠れ部分)

・乾式保護材

7) 仕上げ塗料塗り (C-1、C-3、D-1、D-3、D1-1、D1-2)

※有り(・シルバークラーク) 使用量は製造所標準仕様

8) 屋上排水溝・図示 (水勾配は1/200以上とする)

3

改質アスファルトシート防水

1) 防水改修工法の種類 [3.4.3][表3.4.1~3]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水工法の種類
密着工法	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2
絶縁工法	・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3
断熱工法	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・SI-T1 ・SI-J1

2) 二重ドレン・設ける(・POAS工法・POASI工法) [3.2.6]

3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法、M4ASI工法) ・行う [3.2.6]

4) 断熱工法の断熱材の厚さ (mm) ※25 [3.4.2]

5) 下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 [3.4.4]

4

合成高分子系防水

1) 防水改修工法の種類 [3.5.3]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水工法の種類
接着工法	・POS ・S4S ・S3S ・M4S ・P1S	・S-F1 ・S-F2 ・S-C1
機械的固定工法	・POS ・S4S ・S3S ・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3
断熱工法	・POSI ・S4SI ・S3SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2

2) 仕上げ塗料塗り (S-F1、SI-F1、S-M1、SI-M1の場合)

・シルバークラーク

3) 新規防水層の仕様分類

・非歩行・経歩行

4) 断熱材はグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。〔G〕 [3.5.2]

・架橋形発泡ポリエチレンフォーム 厚さ( )mm

・押出法ポリエチレンフォーム3種B 厚さ( )mm

5) PCコンクリート部下地

地処理 (接着工法) ※図示

入隅部の増張り (種別S-F1の場合) ・行う (幅 mm程度)

6) 二重ドレン (POS、POSI) ※設ける

⑫

ウレタン系塗膜防水

1) 防水改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1]

防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り
・POX		※X-1・X-2	・シルバークラーク
・L4X		・X-1 ※X-2	・カラー

2) 二重ドレン (・POX工法の場合) ・設ける [3.2.5]

3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (L4X工法の場合) ・行う [3.2.6]

⑬

シーリング

1) 改修方法の種類 [3.1.4][表3.1.2][3.7.4~7]

改修方法の種類	施 工 箇 所
○シーリング充填工法	増築部開口部廻り
・シーリング再充填工法	
・拡幅シーリング再充填工法	
・ブリッジ工法	

2) ボンドブレード張り及びエッジング材張り (ブリッジ工法の場合) [3.7.7]

3) シーリング材の種類及び施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]

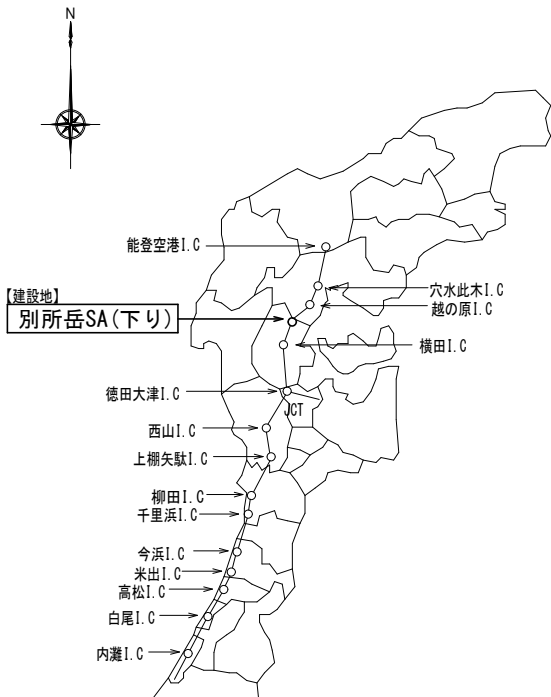
下表以外は、改修仕様表3.7.1を標準とする

施 工 箇 所	シーリング材の種類 (記号)

[illegible]

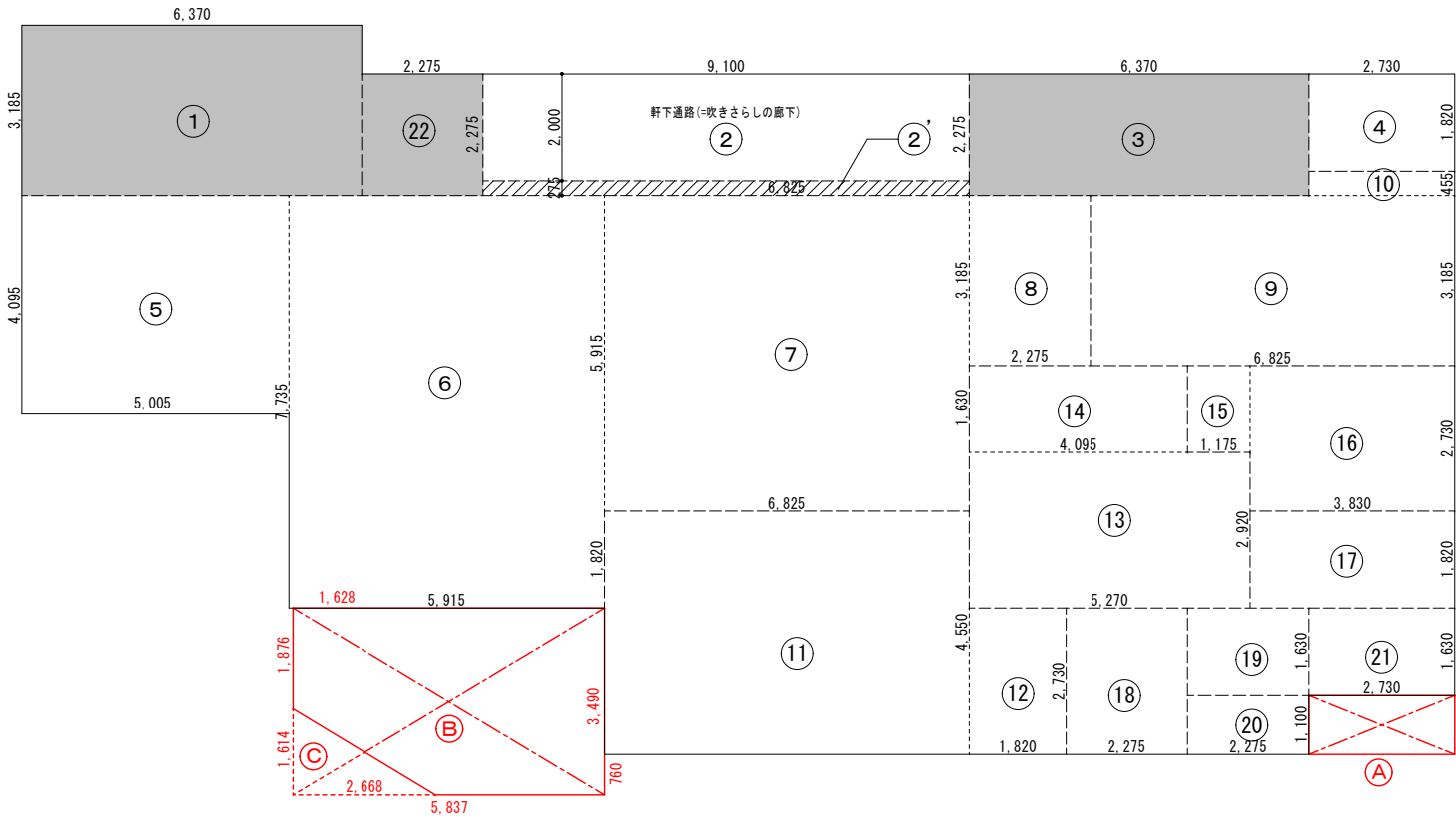
①	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㉿	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---





◆建物概要

計画地	別所岳サービスエリア地内		
地域地区	市街化区域 外		
用途地域	無指定		
防火指定	無指定		
その他地域地区	七尾市景観計画区域内（特別地域）		
	石川県景観形成重要エリア		
許容建ぺい率	60%		
許容容積率	200%		
敷地面積	557.00 m <sup>2</sup>		
延べ床面積	273.60 m <sup>2</sup>	→	294.82 m <sup>2</sup>
建築面積	296.77 m <sup>2</sup>	→	317.99 m <sup>2</sup>
容積率	<del>294.82</del> <del>273.60</del> ÷ 557.00	=	<del>52.92</del> <del>49.12</del> %
建ぺい率	<del>317.99</del> <del>296.77</del> ÷ 557.00	=	<del>57.08</del> <del>53.28</del> %
構造、階数	木造 在来工法 平屋建て		
主要用途	物品販売業を営む店舗（8440）		
上水道	井戸水減菌処理		
下水道	無し（既存浄化槽使用）		



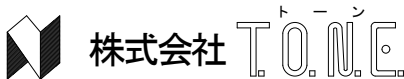
◆建物面積求積表

		m <sup>2</sup>	備考
①	6.3700 × 3.185 =	20.2884	自販機コーナー
②	9.1000 × 0.275 =	2.5025	軒下通路 (2m以深)
③	6.3700 × 2.275 =	14.4917	軒下通路 (囲い壁有り)
⑤	5.0050 × 4.095 =	20.4954	特産品売場
⑥	5.9150 × 7.735 =	45.7525	〃
⑦	6.8250 × 5.915 =	40.3698	〃
⑧	2.2750 × 3.185 =	7.2458	〃
⑨	6.8250 × 3.185 =	21.7376	情報発信コーナー
⑩	2.7300 × 0.455 =	1.2421	〃
⑪	6.8250 × 4.550 =	31.0537	休憩・飲食コーナー
⑫	1.8200 × 2.730 =	4.9686	〃
⑬	5.2700 × 2.920 =	15.3884	主厨房
⑭	4.0950 × 1.630 =	6.6748	カンナ・厨房
⑮	1.1750 × 1.630 =	1.9152	事務室
⑯	3.8300 × 2.730 =	10.4559	〃
⑰	3.8300 × 1.820 =	6.9706	倉庫
⑱	2.2750 × 2.730 =	6.2107	物置
⑲	2.2750 × 1.630 =	3.7082	更衣室
⑳	2.2750 × 1.100 =	2.5025	トイレ
㉑	2.7300 × 1.630 =	4.4499	屋外物置
㉒	2.2750 × 2.275 =	5.1756	軒下通路 (囲い壁有り)
延べ床面積 (②④以外)		273.60	
②	9.1000 × 2.000 =	18.2000	軒下通路
④	2.7300 × 1.820 =	4.9686	軒下通路
建築面積 (Σ ①～㉒)		296.77	

◆無届増築面積求積表

		m <sup>2</sup>	備考
Ⓐ	2.7300 × 1.100 =	3.0030	外部倉庫
Ⓑ	5.8370 × 3.490 =	20.3711	客席
Ⓒ	▲2.6680 × 1.614 × 0.50 =	▲2.1530	客席増計= 18.2180
増築計=		21.2210	
床面積=273.60+21.22		294.82	
建築面積=296.77+21.22		317.99	

※赤字：増築部



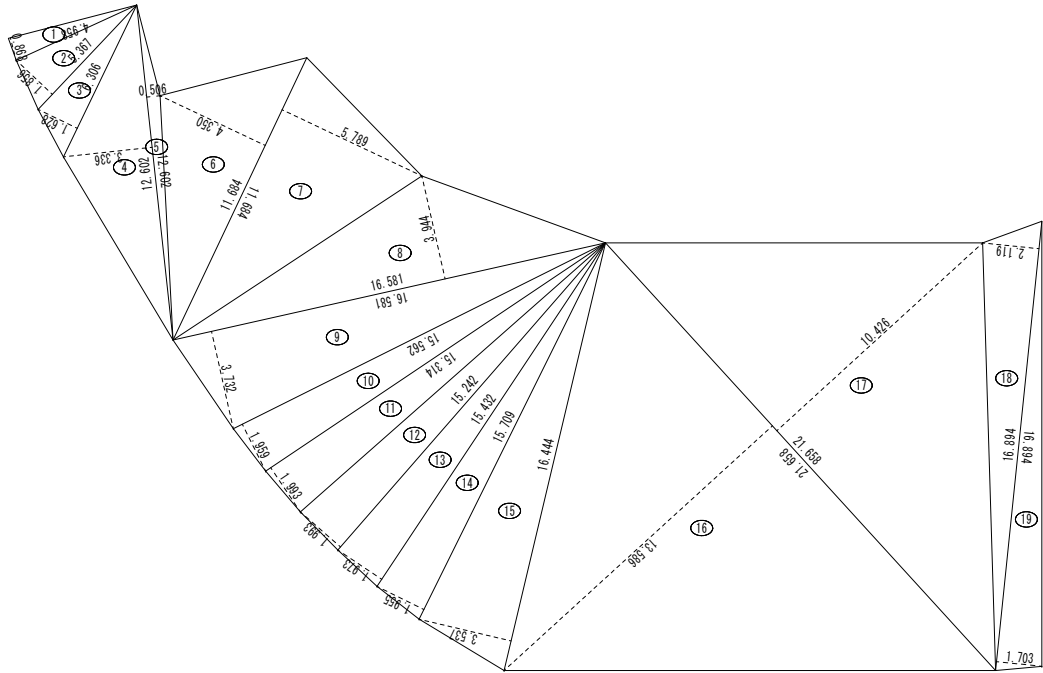
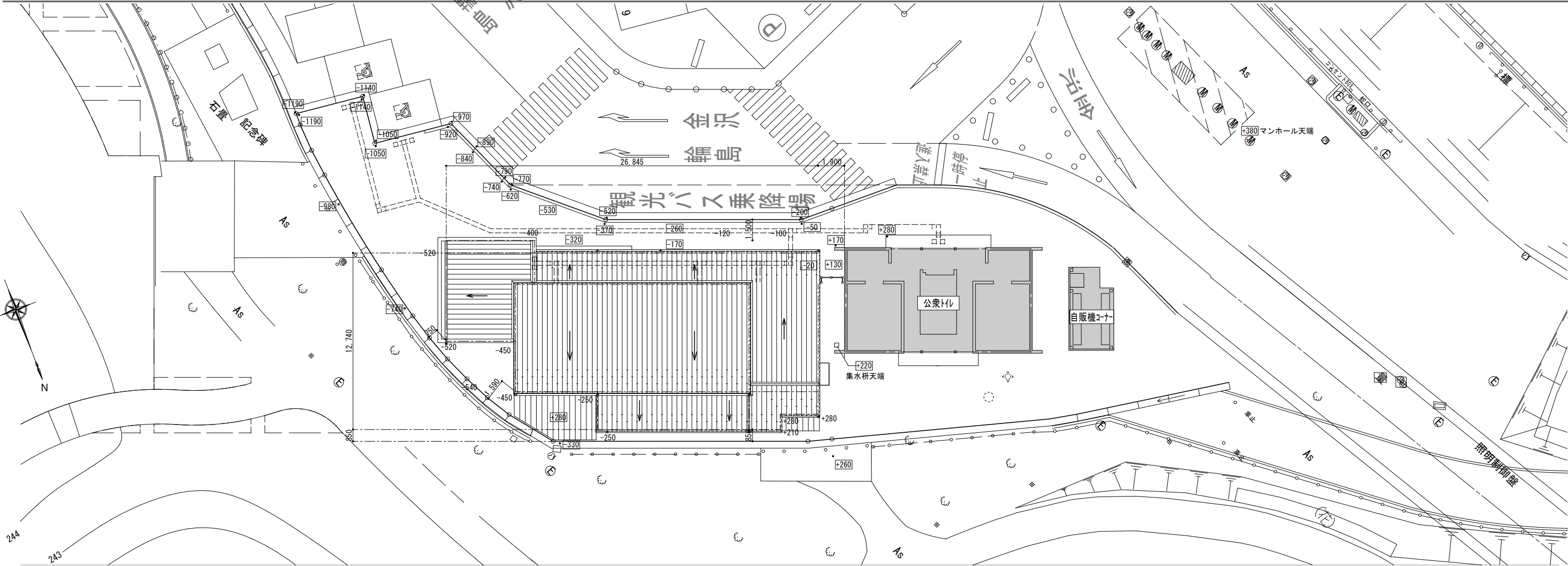
〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号  
TEL (076) 222-1046 FAX (076) 222-3046  
一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号  
一級建築士登録 第341008号  
構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一

照査	検図	担当

作成 R 6 年 2 月 28 日
縮尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200

工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事
図面名 付近見取図・面積表

No.  
A-06



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	4.958	0.868	4.303544	2.1517720
2	5.367	1.856	9.961152	4.9805760
3	6.306	1.628	10.266168	5.1330840
4	12.602	3.336	42.040272	21.0201360
5	12.602	0.506	6.376612	3.1883060
6	11.684	4.350	50.825400	25.4127000
7	11.684	5.789	67.638676	33.8193380
8	16.581	3.944	65.395464	32.6977320
9	16.581	3.732	61.880292	30.9401460
10	15.562	1.959	30.485958	15.2429790
11	15.314	1.993	30.520802	15.2604010
12	15.242	1.993	30.377306	15.1886530
13	15.432	1.973	30.447336	15.2236680
14	15.709	1.955	30.711095	15.3555475
15	16.444	3.537	58.162428	29.0812140
16	21.658	13.586	294.245588	147.1227940
17	21.658	10.426	225.806308	112.9031540
18	16.894	2.119	35.798386	17.8991930
19	16.894	1.703	28.770482	14.3852410
合 計				557.0066345
敷 地 面 積				557.00 m <sup>2</sup>

特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL ( 076 ) 222-1046 FAX ( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作 成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A - 0 7
							縮 尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名 配置図・敷地面積求積図	

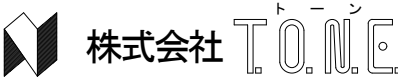


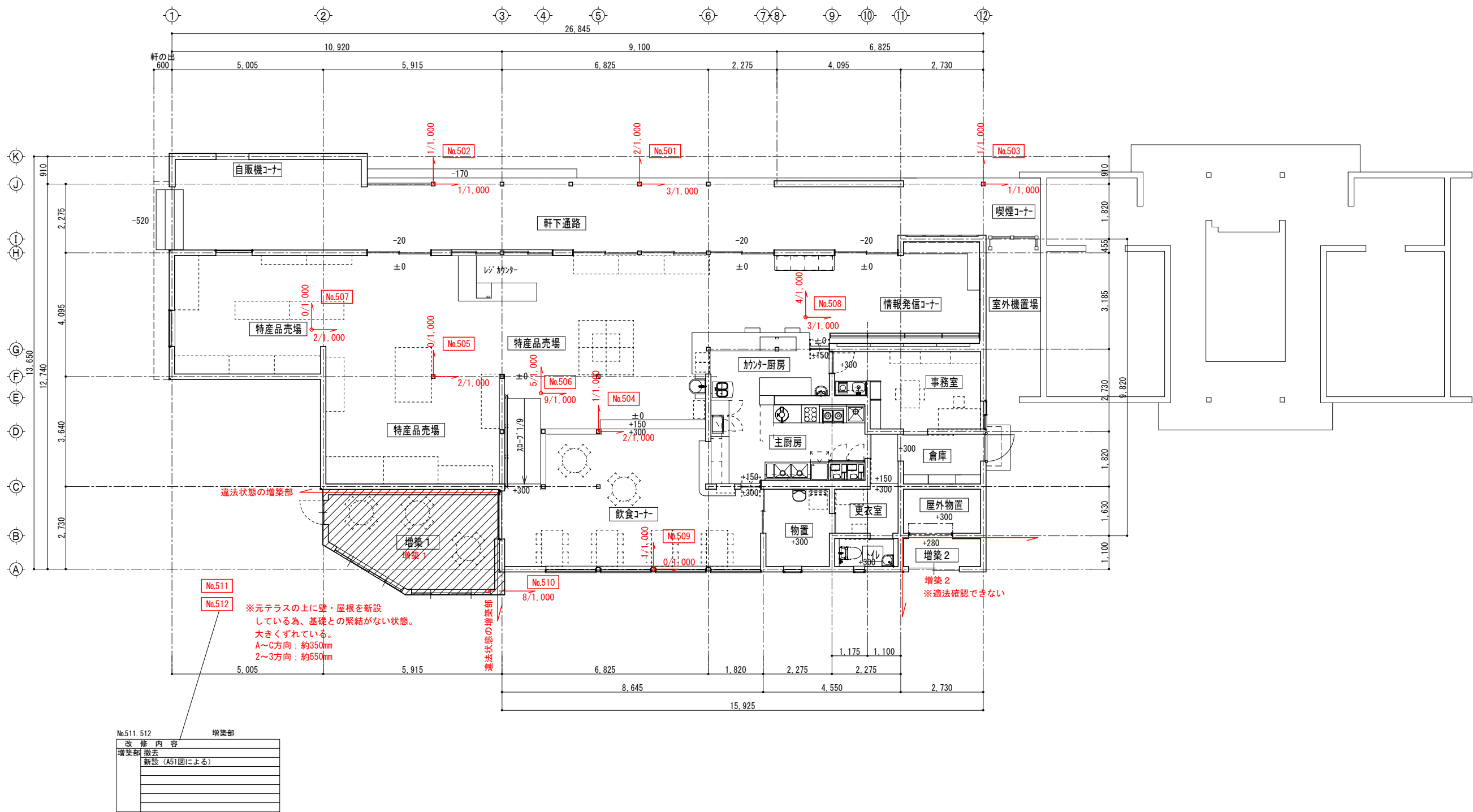
外部仕上表	屋根	G L 鋼板立てハゼ葺き t=0.35 雪止め 日鉄住金鋼板(株) F K 1 0 1 ニスクフロン ブラックパール アスファルトルーフィング 22kg、シージングボードt=12、構造用合板t=12			外部仕上表	小屋裏換気	SUSφ100 防風板付フラットフード（防虫網付）		
	外壁 1	能登ヒバ縦板張りt=15、木材保護塗装 2 回塗り クリアー 通気胴縁 27(18)×45@455、透湿防水シート				柱脚金物	単独柱受け金物：PL-9 溶融亜鉛めっき（制作）		
	外壁 2	杉下見板張りt=15、木材保護塗装 2 回塗り マホガニ 胴縁 18×45@455、透湿防水シート				開口部	木製建具（建具表）、アルミサッシ（建具表）		
	外壁 3	G L 鋼板立てハゼ葺き t=0.35、シージング石膏ボード t=9.5 日鉄住金鋼板(株) F K 1 0 1 ニスクフロン ブラックパール 通気胴縁 18×45@455、透湿防水シート				デッキ	デッキ材：能登ヒバ t=36 木材保護塗装 2 回塗り 手摺：丸鋼 O P		
	箱樋	G L 鋼板加工 t=0.6				断熱工事	土間下：t=30 A 種押出法ポリスチレン フォーム保温板3種 b 外壁：グラスウール10K t=100、天井：グラスウール16K t=100		
	雨樋	軒樋：G L 鋼板製 角樋、縦樋：G L 鋼板製 丸樋			防蟻工事	化粧柱以外の柱・筋違・間柱は、土台天+1,000mmまでの木部（下地共）防蟻防腐剤（F☆☆☆☆）塗布 土台4面 防蟻防腐剤（F☆☆☆☆）塗布			
	外部巾木	モルタル刷毛引き			その他特記	・使用建材・材料は、F☆☆☆☆品を使用すること。 ・木材死節は木理めを施すこと。			
水切り	G L 鋼板 t=0.35 日鉄住金鋼板(株) F K 1 0 1 ニスクフロン ブラックパール			・増築 1 屋根：G L 鋼板立てハゼ 壁：G L 鋼板角波 増築 2 屋根：G L 鋼板立てハゼ 壁：G L 鋼板角波貼 G L 鋼板は J I S 3 3 2 2					
内部仕上表	階	室名	床	巾木	壁	天井	回縁	天井高	備考
	1	軒下通路	モルタル木コテ回し+防塵クリア塗装 スロープ：モルタル櫛引き	基礎立上り モルタル刷毛引	杉下見板張りt=15、木材保護塗装 2 回塗り 通気同縁 18×45@455、透湿防水シート	杉目透かし張りt=15、木材保護塗装 軒先換気孔（SUS防虫メッシュ #18）	木製	2,400	ポスターケース（B2×4） 手摺（壁付け）
		特産品売場	モルタル木コテ回し+防塵クリア塗装 目地：V目地金コテ押え @3,000内外	木製巾木 A E P	60 石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P 一部腰下：杉下見板張り t=12 A E P 客用手洗器前：タイルボード t=8 モザイクタイル貼り 一部腰壁：タイルボード t=8 ブリックタイル	石膏ボード t=9.5 パテ処理後 A E P	樹脂 見切	①2,700 ②4,035 ～5,180	レジカウンター 客用手洗器（設備工事）
		情報案内コーナー	モルタル木コテ回し+防塵クリア塗装 目地：V目地金コテ押え @3,000内外	木製巾木 A E P	60 石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P 一部腰下：杉下見板張り t=12 A E P	石膏ボード t=9.5 パテ処理後 A E P G N－9 3 三分つや	樹脂 見切	2,700	ポスターケース（A1×4）、ピクチャーレール パンフレットラック 手摺（壁付け）
		飲食コーナー	能登ヒバフローリング張り t=15 ウレタン塗装（半艶）	木製巾木 A E P	60 石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P 腰下：杉下見板張り t=12 A E P 一部腰壁：タイルボード t=8 ブリックタイル	石膏ボード t=9.5 パテ処理後 A E P G N－9 3 三分つや	樹脂 見切	2,400	受取・返却カウンター 手摺（壁付け）
		カウンター厨房	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	木製巾木 A E P	60 石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P タイルボード t=8 モザイクタイル貼り	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,550	レジカウンター、作業カウンター、吊戸棚 従業員用手洗器（設備工事）
		主厨房	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 化粧ケイカル板 t=6 突付け【不燃 NM-3073】	ケイカル板 t=6 V P G N－9 3 三分つや	樹脂 見切	2,550	厨房機器（設備工事）
		事務室	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り シンコール R J 6 8 2 8	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,400	棚板 t=25 ミニキッチン（設備工事）、分電盤（設備工事）
		物置	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り シンコール R J 6 8 2 8 S K 前：化粧ケイカル板 t=6	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,400	スロップシンク（設備工事）、洗濯パン（設備工事）
		倉庫	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り シンコール R J 6 8 2 8	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,400	収納可動棚
		更衣室	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り シンコール R J 6 8 2 8	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,400	カーテンレール
		トイレ	硬質長尺シート貼り t=2.0 東リ フロアリュウムマーブル 2 0 F L 5 5 5 抗菌仕様	ビニール巾木 東リ N O 2 5	60 石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り シンコール R J 6 8 2 8	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5 手洗器周辺：化粧ケイカル板 t=6	樹脂 見切	2,200	洋便器、紙巻器、手洗器、タオル掛（設備工事）
		屋外物置	モルタル金コテ仕上げ	基礎立上り モルタル刷毛引	280 構造用合板t=9	構造用合板t=9	—	2,500	
	増築 1（屋外物置）	モルタル金コテ仕上げ	基礎立上り モルタル刷毛引	280 外壁に同じ	構造用合板t=9	—	2,500		
	増築 2（客席）	デッキの上に耐水合板(t21) フローリング貼	木製 UC	60 腰：胴縁組 杉板(t12) UC 見切；木製45 UC 壁：胴縁組 石膏ボード(t12.5) ビニルクロス貼	木下地組 GB-R(t9.5) ビニルクロス貼	—	2,500	カウンター	

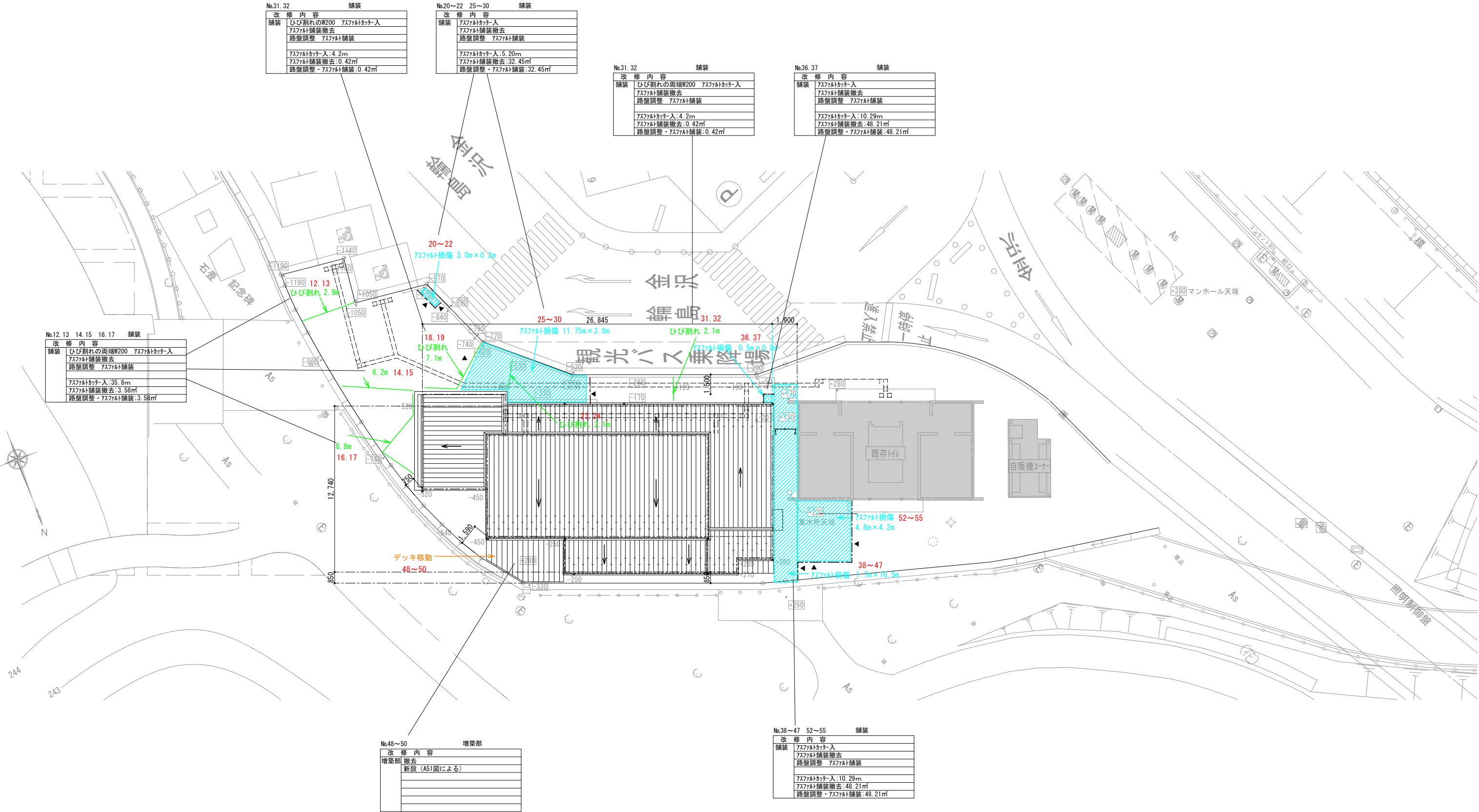
仕上材 参考メーカー品番リスト（同等品とする）

項 目	メーカ－	商 品 名	項 目	メーカ－	商 品 名
モザイクタイル	平田タイル	オリエンタル モザイクタイル 6 4 グレー 6 1 白	雨どい	タニタハウジングウェア	H A C O
ブリックタイル	平田タイル	エスパ－ニャブリック 白	防塵クリア塗装	A B C 商会	セラミキュア
誘導タイル	(社)安全交通試験研究センター	磁器質タイル S M 3 0 0－J T（J U）	小屋裏換気口 φ150	P a n a s o n i c ペンテック	ステンレス製 防風板付フラットフード(防虫網付)＋塗装
		合成ゴム製 S M 3 0 0－J M（J N）	パイプ棚	T O T O	タオル棚 T S 1 1 7 P 1

※赤字：増築部

特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目30番19号 TEL（076）222-1046 FAX（076）222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A－08
							縮尺 A2 S=N.S. A4 S=N.S.	図面名  仕 上 表	



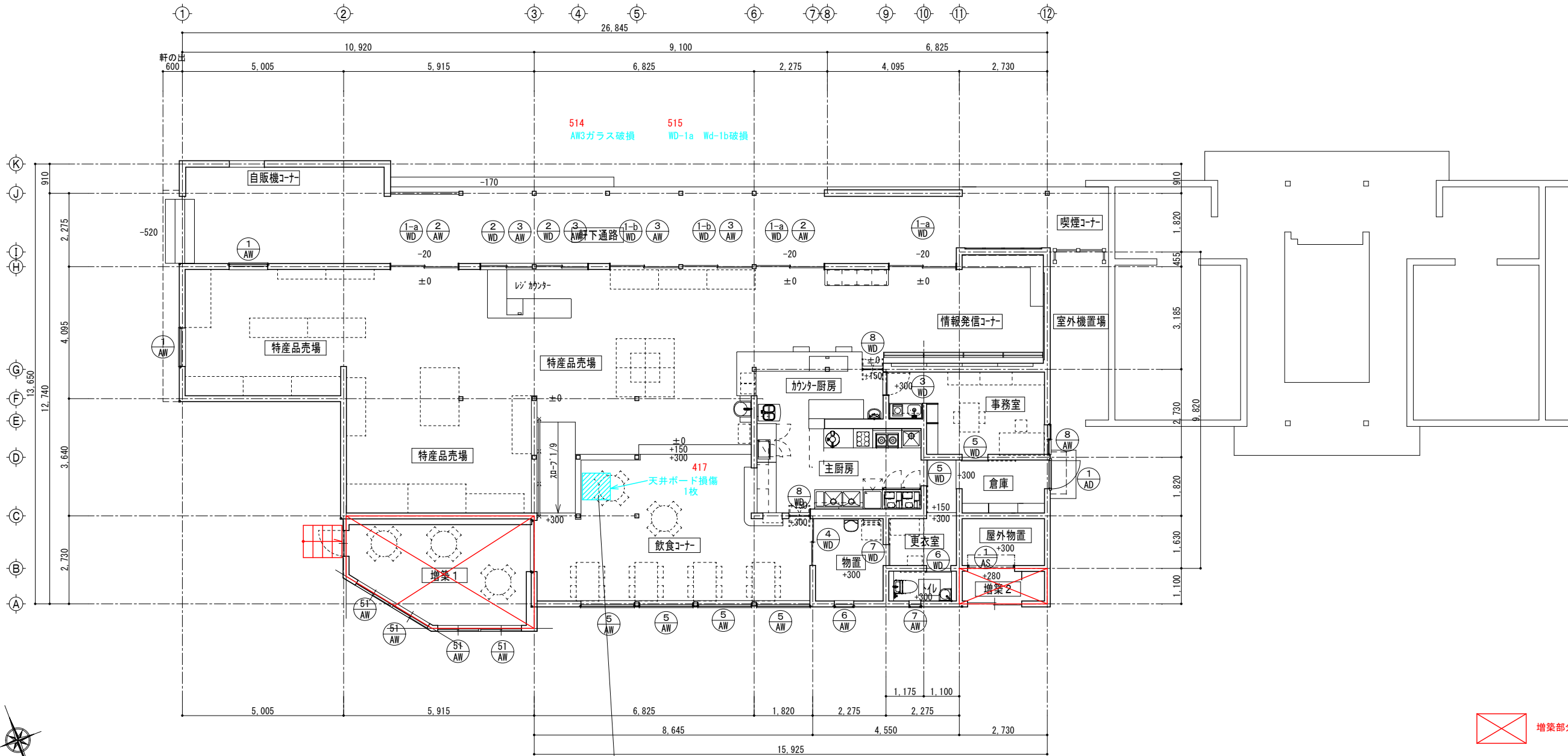


凡例

	ひび割れ
	欠損
	損傷
	剥落

▽ — アスファルトカッター入

No.514	開口部	No.515	開口部
改修内容		改修内容	
開口部別図による		開口部A34図による	



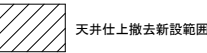
No.417	天井
改修内容	
天井別図による	

増築部分を示す。

凡		ひび割れ
例		欠損
		損傷
		剥落





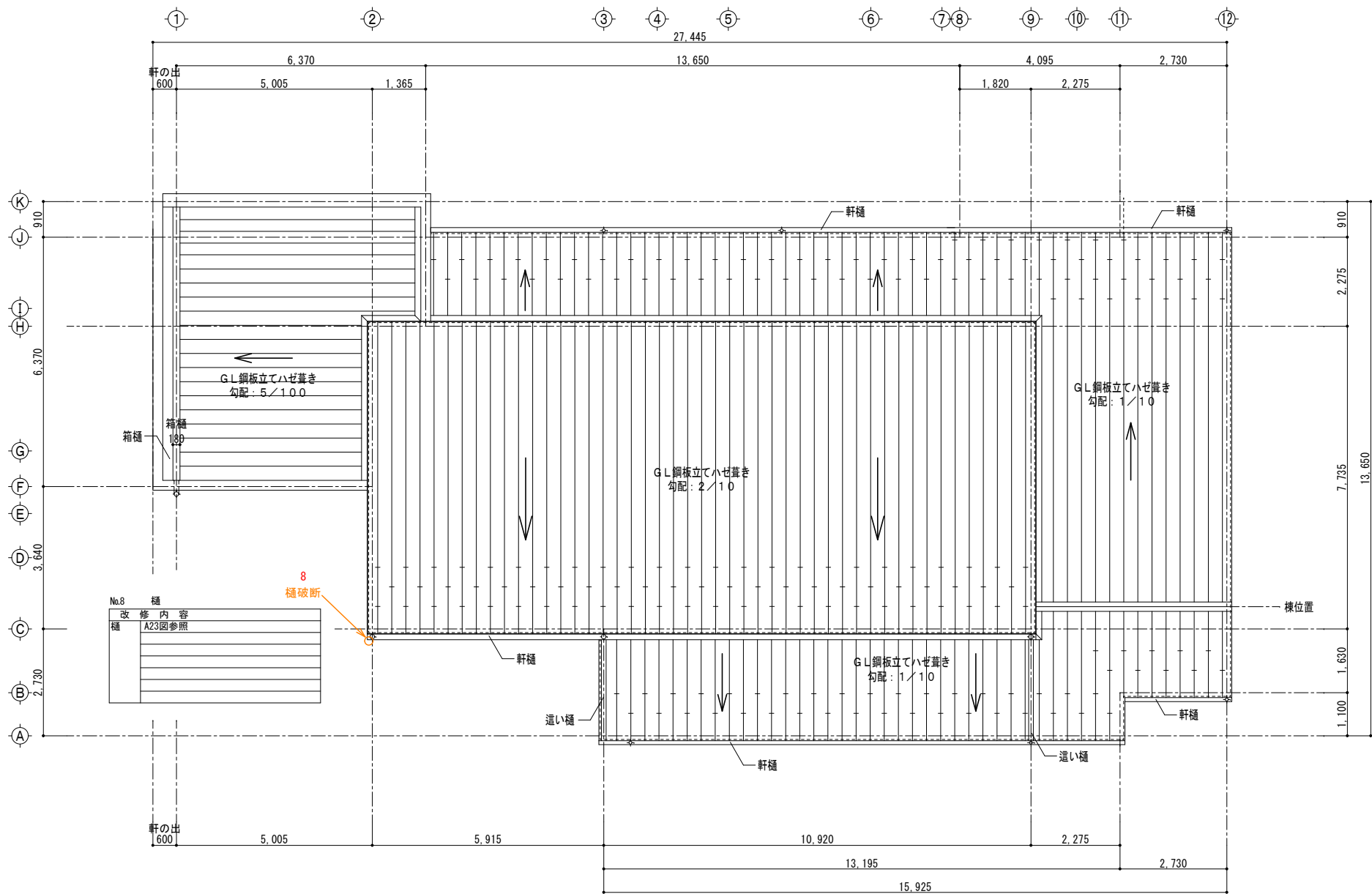


天井	
改 修 内 容	(設備機器配管配線確認のため)
天井	図示範囲
	天井仕上・廻縁・下天見切新設
	GB-R(19.5):174.6m AEP:174.6m
	杉板:63.6m WP:63.6m
	天井廻縁:76.44m 下天見切:19.07m



特記事項	 〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目30番19号 TEL( 076 ) 222-1046 FAX( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第 9504 号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A - 2 4
					縮 尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	図面名 損傷図 4 天井伏図	










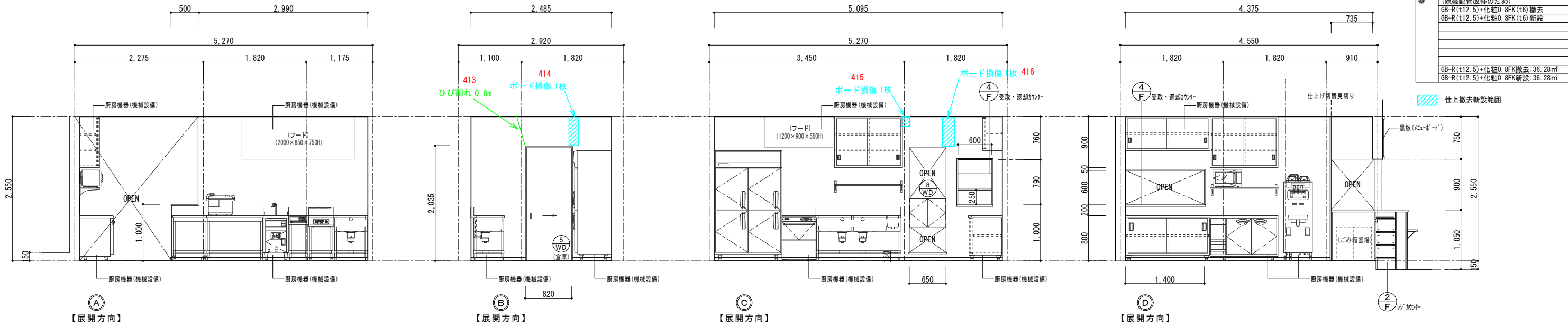


室名	床	巾木		壁	天井	回縁	天井高	備考
			h					
特産品売場	モルタル刷毛引き＋防塵クリア塗装	木製巾木	60	石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P	石膏ボード t=9.5 パテ処理後 A E P	樹脂  見切	①2,700 ②4,035  ～5,180	レジカウンター 客用手洗器（設備工事）
	目地：V目地金コテ押え @3,000内外	A E P		一部腰下：杉下見板張り t=12 A E P				
				客用手洗器前：タイルボード t=8 モザイクタイル貼り				
				一部腰壁：タイルボード t=8 ブリックタイル				
飲食コーナー	能登ヒバフローリング張り t=15	木製巾木	60	石膏ボード t=12.5 パテ処理後 A E P	石膏ボード t=9.5 パテ処理後 A E P	樹脂  見切	2,400	受取・返却カウンター 手摺（壁付け）
	ウレタン塗装（半艶）	A E P		腰下：杉下見板張り t=12 A E P 一部腰壁：タイルボード t=8 ブリックタイル				

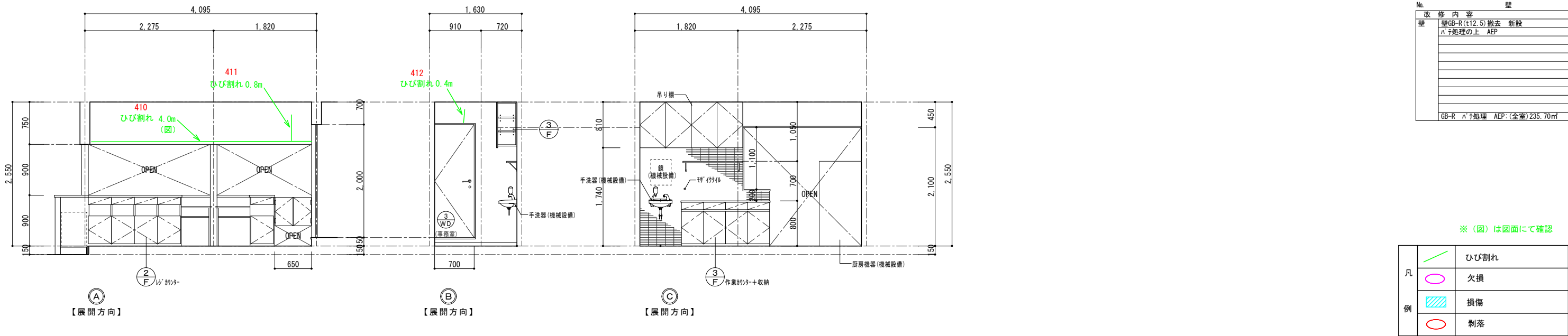
[illegible]

特記事項		 <b>株式会社</b> <b>TONE</b>	〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目30番19号 TEL ( 076 ) 222-1046 FAX ( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A - 2 9

室名	床	巾木	h	壁	天井	回縁	天井高	備考
主厨房	硬質長尺シート貼り t=2.0	ビニール巾木	60	石膏ボード t=12.5 化粧ケイカル板 t=6 突付け	化粧ケイカル板 t=6 突付け	樹脂 見切	2,550	厨房機器（設備工事）



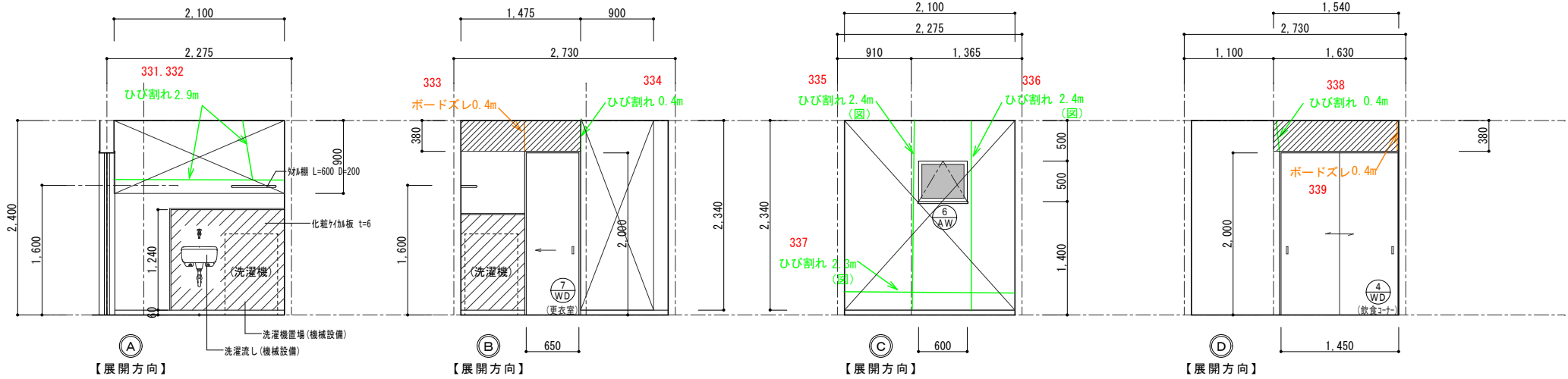
室名	床	巾木	h	壁	天井	回縁	天井高	備考
カウンター厨房	硬質長尺シート貼り t=2.0	木製巾木 A E P	60	石膏ボード t=12.5 パテ処理後A E P タイルボード t=8 モザイクタイル貼り	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,550	レジカウンター、作業カウンター、吊戸棚 従業員用手洗器（設備工事）







室名	床	巾木	h	壁	天井	回縁	天井高	備考
物置	硬質長尺シート貼り t=2.0	ビニール巾木	60	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り S K 前：化粧ケイカル板 t=6	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,400	スロップシンク（設備工事）、洗濯パン（設備工事）

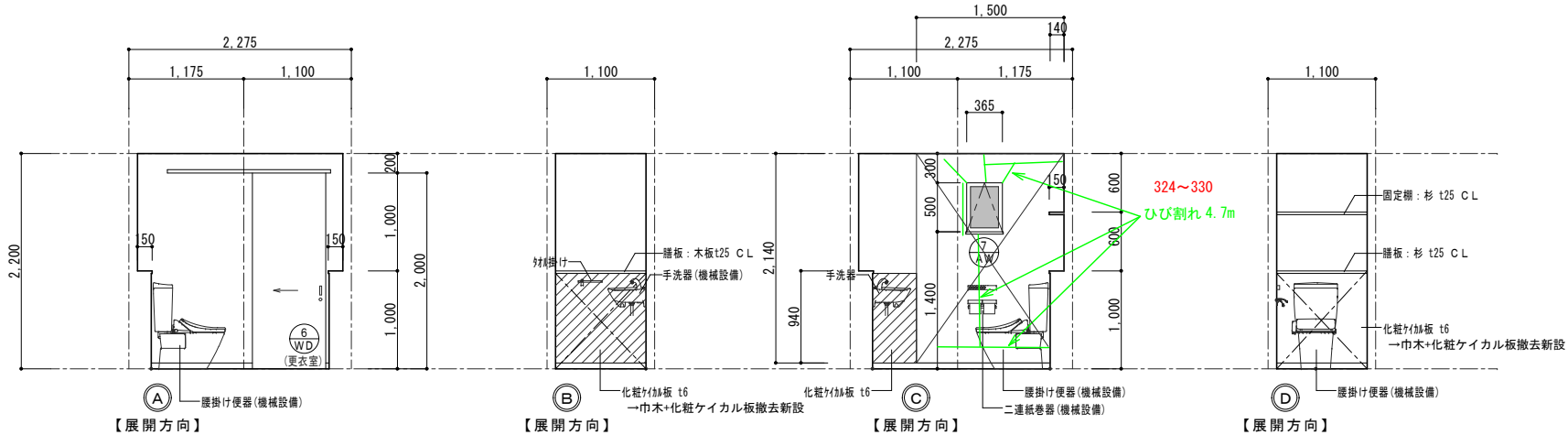


No.331～339 壁	
改修内容	
図示範囲	
壁ビニールクロス撤去 GB-R(t12.5)撤去	
壁GB-R(t12.5)新設 ビニールクロス新設	
トイレ棚取外再取付	
壁ビニールクロス撤去:1.16㎡	
壁GB-R(t12.5)撤去:0.64㎡	
壁GB-R(t12.5)新設:0.64㎡	
壁ビニールクロス新設:1.16㎡	
トイレ棚取外再取付:1箇所	

GB-R(t12.5)+ビニールクロス撤去新設範囲

ビニールクロス撤去新設範囲

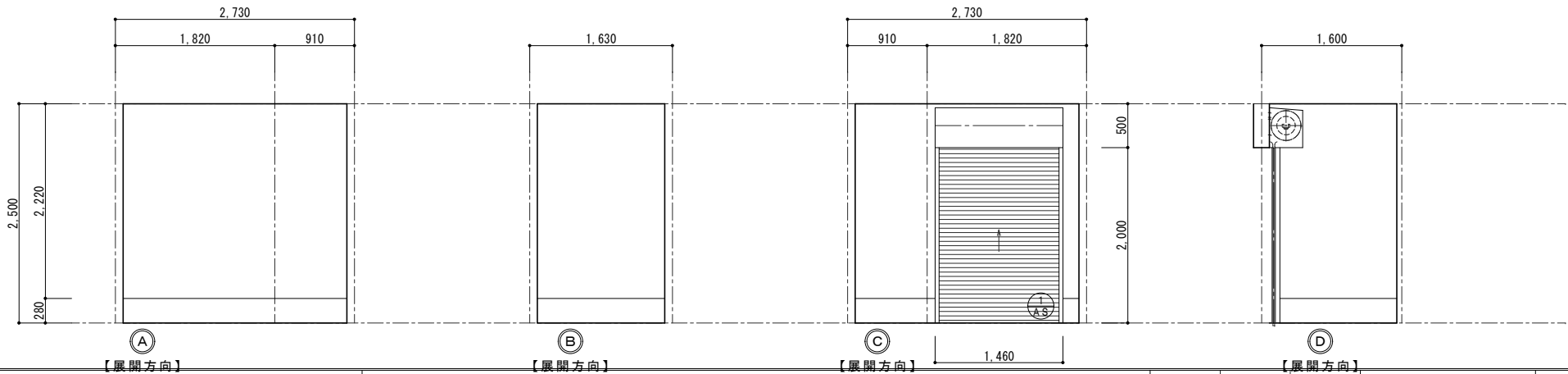
室名	床	巾木	h	壁	天井	回縁	天井高	備考
トイレ	硬質長尺シート貼り t=2.0	ビニール巾木	60	石膏ボード t=12.5 ビニールクロス貼り 手洗器周辺：化粧ケイカル板 t=6	化粧石膏ボード 3'×3' t=9.5	樹脂 見切	2,200	洋便器、紙巻器、手洗器、タオル掛（設備工事）



No.324～330 壁	
改修内容	
図示範囲	
壁ビニールクロス撤去	
ビニールクロス新設	
(配管撤去新設のため)	
配管ラインダケ化粧0.8FK撤去	
配管ラインダケ化粧0.8FK新設	
壁ビニールクロス撤去:2.90㎡	
壁ビニールクロス新設:2.90㎡	
ペーパー材撤去取外再取付:1箇所	
洗浄便座スイッチ取外再取付:1箇所	

ビニールクロス撤去新設範囲

室名	床	巾木	h	壁	天井	回縁	天井高	備考
屋外物置	モルタル金コテ仕上げ	基礎立上り モルタル刷毛引	280	構造用合板 t=9	構造用合板 t=9	—	2,500	




※(図)は図面にて確認

凡例		ひび割れ
		欠損
		損傷
		剥落
		ズレ

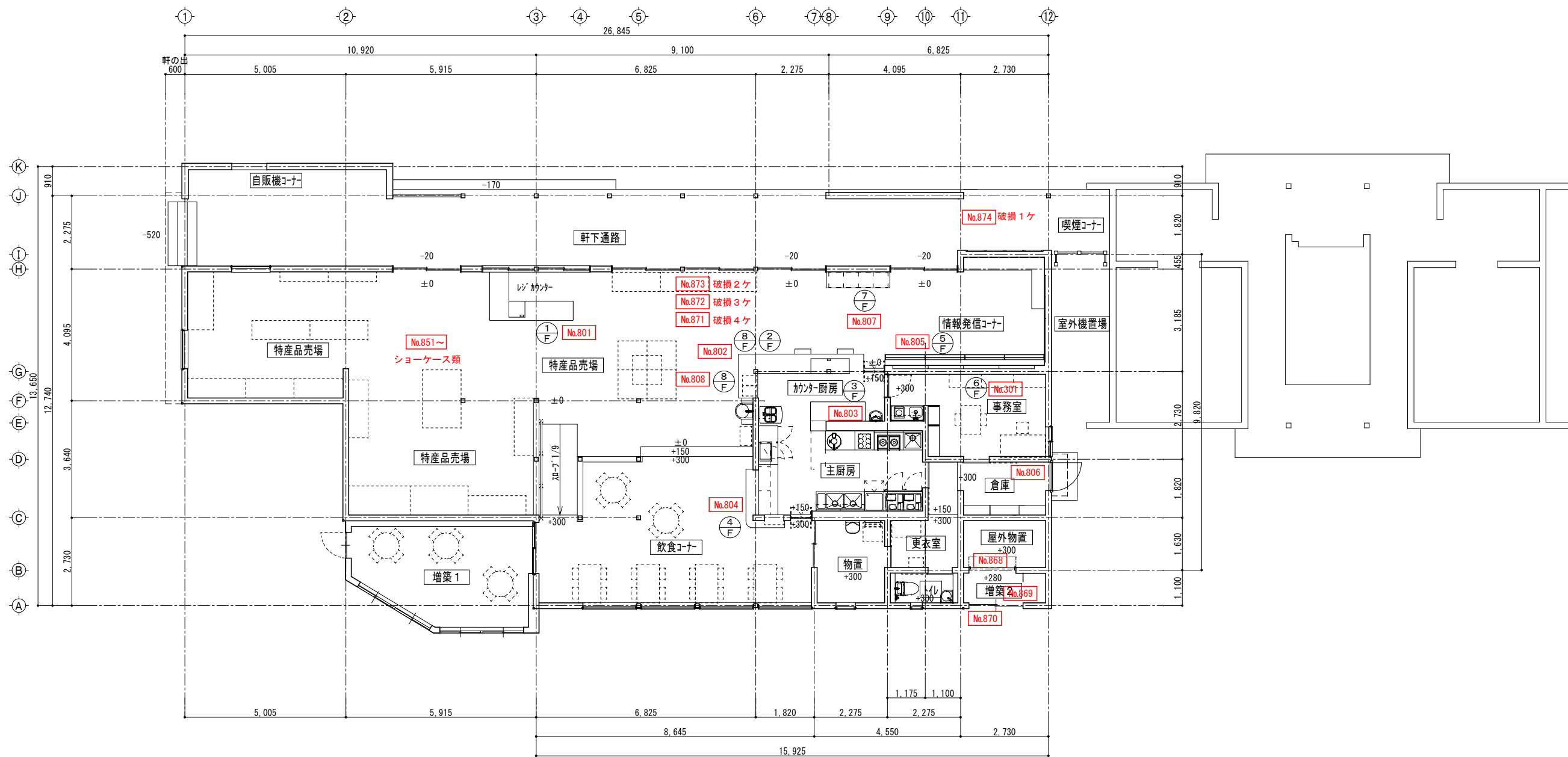
特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL(076)222-1046 FAX(076)222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照査 検図 担当	作成 R7年2月28日 縮尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. A-32
						図面名 損傷図12 展開図(6)	

記号・数量		① AW	特産品売場	2	② AW	特産品売場	2	③ AW	特産品売場	No.514	4	④ AW	飲食スペース	1	⑤ AW	飲食スペース	4	⑥ AW	物置	1		
型 式		F i x 窓 アルミサッシ樹脂アングル（半外）			F i x 窓+すべり出し窓アルミサッシ樹脂アングル（半外）			F i x 窓 アルミサッシ樹脂アングル（半外）			引き違いテラス窓 アルミサッシ樹脂アングル（半外）			F i x 窓+すべり出し窓アルミサッシ樹脂アングル（半外）			すべり出し窓アルミサッシ樹脂アングル（半外）					
仕上・見込		ブラック			ブラック			ブラック			ブラック			ブラック			ブラック					
ガラス		複層ガラス（3+A12+3）			複層ガラス（スリ3+A12+3）			L o w－E ガラス（スリ3+A12+3）			複層ガラス（3+A12+3） 飛散防止フィルム貼り			複層ガラス（3+A12+3）			複層ガラス（スリ3+A12+3）					
金 物		アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品					
備 考		－			連窓方立、段窓無目、目板、オペレーター（ハンド）ボックス 連窓用目板・上下水切り			連窓用目板・上下水切り			大型引手、網戸			連窓方立、段窓無目、連窓用目板・上下水切り、網戸			網戸、エアブレス					
姿 図		※記載寸法は内法寸法																				
記号・数量		⑦ AW			トイレ	1	⑧ AW	事務室	1	① AD	管理用出入口	1	① AS	屋外物置	1							
型 式		すべり出し窓 アルミサッシ樹脂アングル（半外）			引き違い窓 アルミサッシ樹脂アングル（半外）			玄関開き戸			アルミワイドシャッター											
仕上・見込		ブラック			ブラック			シャイングレー			ブラック											
ガラス		複層ガラス（スリ3+A12+3）			複層ガラス（3+A12+3）			複層ガラス（3+A12+3）			－											
金 物		アングルー体型 メーカー標準品			アングルー体型 メーカー標準品			メーカー標準品			メーカー標準品			メーカー標準品（シャッターケース込）								
備 考		網戸、エアブレス			網戸、エアブレス			網戸、アルミ庇 D=500 L=1,300			手動巻上げ、鍵付き											
姿 図		※記載寸法は内法寸法																				

特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL（076）222-1046 FAX（076）222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A - 3 3
	縮 尺						A2 S=1:50 A4 S=1:100	図面名 損傷図13 建具表（1）	

記号・数量		<div><div>1-a</div><div>WD</div></div> 特産品売場、情報発信コーナー 3 <div>No.515</div>	<div><div>1-b</div><div>WD</div></div> 特産品売場、情報発信コーナー 2 <div>No.515</div>	<div><div>2</div><div>WD</div></div> 特産品売場 2 <div><div>3</div><div>WD</div></div> 事務室 1	<div><div>4</div><div>WD</div></div> 物置 1		
型 式		ガラス引き違い戸		ガラス引き違い戸＋網戸			
仕上・見込		能登ヒバ＋ウッドワックス・３６		能登ヒバ＋ウッドワックス・３６（網戸３０）			
ガラス		複層ガラス（FL3＋A6＋FL3）飛散防止フィルム貼り		複層ガラス（FL3＋A6＋FL3）			
金 物		ＳＵＳ丸鋼レール、戸車、引違い錠		ＳＵＳ丸鋼レール、戸車、引違い錠			
備 考		棒引手（エニワ/G10501-26-101）、木製掘込み引手 モヘア（四方＋召合せ）、SUS-HL衝突防止マーク		木製掘込み引手、モヘア（四方＋召合せ）			
姿 図		<div>※記載寸法は 内法寸法</div> <div><div>No.515</div><div>開口部</div><div>改 修 内 容</div><div>開口部WD-1a -1b新設</div><div>WD-1a新設：3箇所</div><div>WD-1b新設：2箇所</div><div>F3+S6+FL3：8.08㎡</div><div>2.275</div><div>2.100</div><div>2.275</div><div>2.100</div><div>2.100</div><div>▼F.L</div></div>		<div>1.600</div> <div>1.100</div> <div>1.000</div> <div>▼F.L</div>		<div>700</div> <div>2.000</div> <div>▼F.L</div>	<div>1.450</div> <div>2.000</div> <div>▼F.L</div>
記号・数量		<div><div>5</div><div>WD</div></div> 倉庫 2	<div><div>6</div><div>WD</div></div> トイレ 1	<div><div>7</div><div>WD</div></div> 更衣室 1	<div><div>8</div><div>WD</div></div> カウンター厨房、主厨房 2		
型 式		引き戸		引き戸			
仕上・見込		ポリ合板フラッシュ・３０		ポリ合板フラッシュ・３０			
ガラス		－		－			
金 物		掘込引手（KAWAJYUN／PC-425-XB）		掘込引手（KAWAJYUN／PC-425-XB） 大型サムターン表示錠（KAWAJYUN／3-KM-09-XB）			
備 考		フラッターレール、戸車、戸当り、戸首7㎜板 t=5		フラッターレール、戸車、戸当り、戸首7㎜板 t=5			
姿 図		<div>※記載寸法は 内法寸法</div> <div>830</div> <div>2.000</div> <div>▼F.L</div>		<div>830</div> <div>2.000</div> <div>▼F.L</div>	<div>680</div> <div>2.000</div> <div>▼F.L</div>	<div>650</div> <div>500</div>	

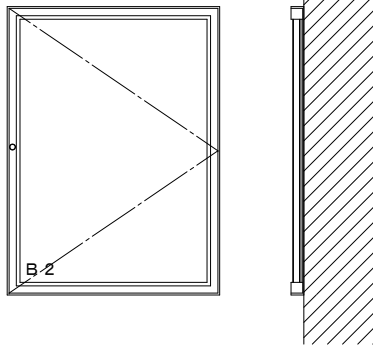
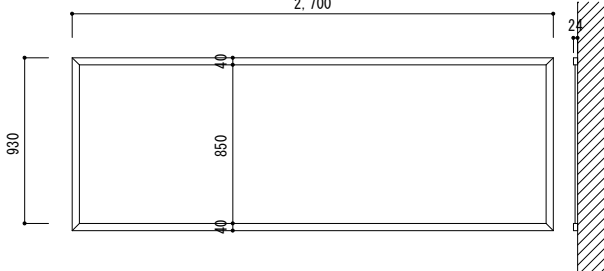
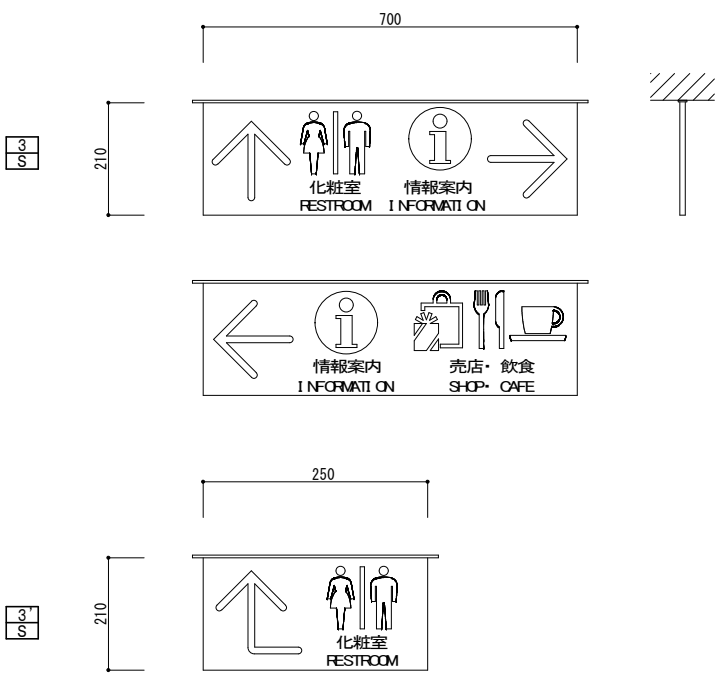
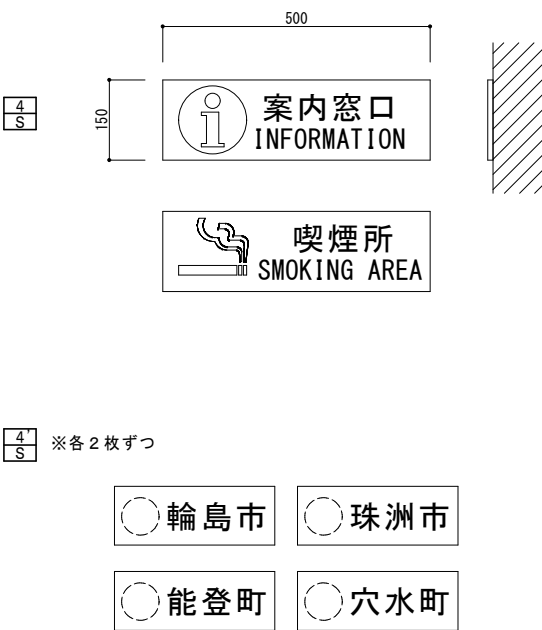




特記事項		<div><div></div><div>株式会社</div><div>TONE</div></div>	〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL（076）222-1046 FAX（076）222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. A－3 4	
					縮 尺 A2 S=1：50 A4 S=1：100	図面名 損傷図14 建具表（2）				




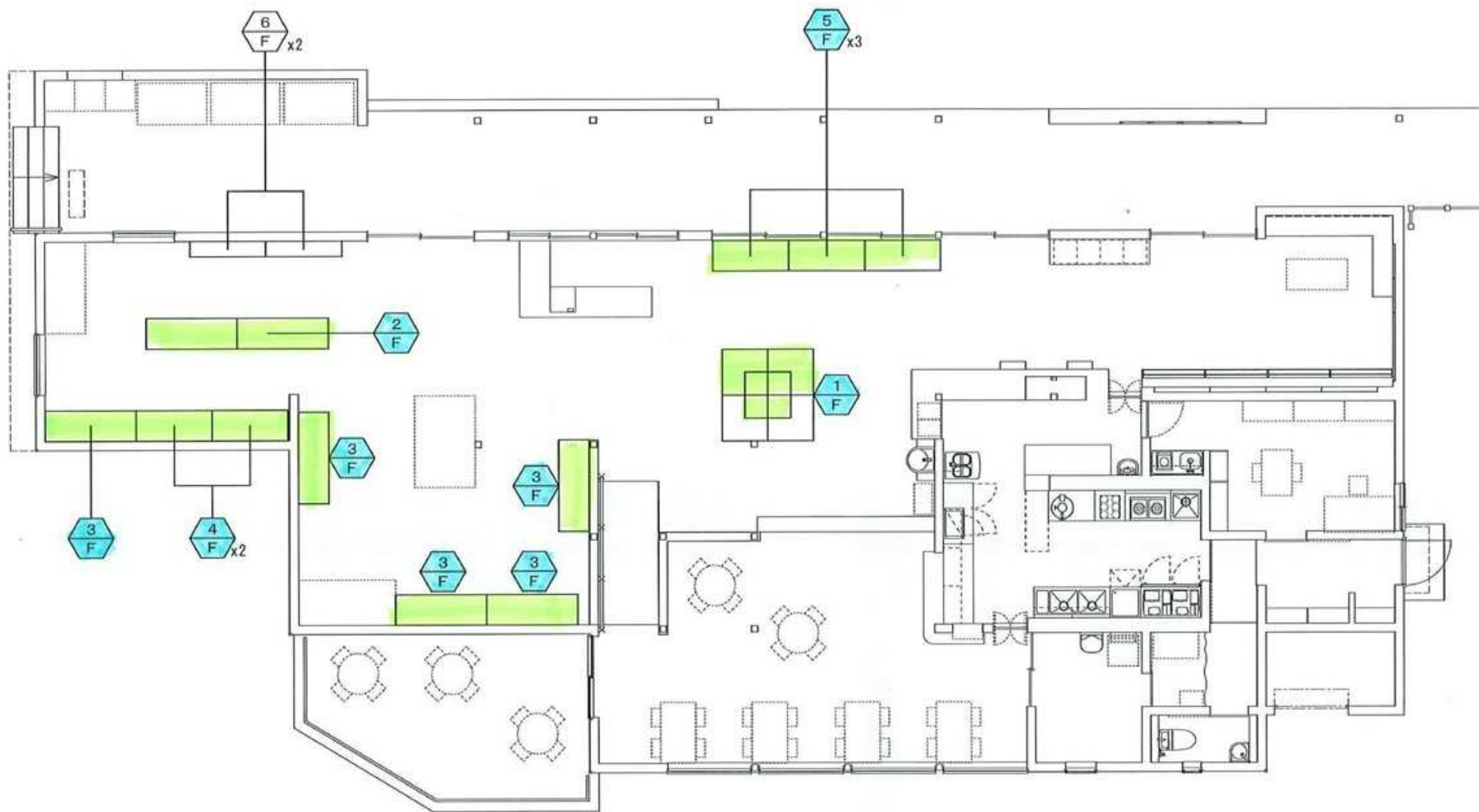
特記事項		<div><div></div><div>株式会社</div><div>トーン</div><div>エ</div></div>	〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目 30 番 19 号 TEL ( 076 ) 222-1046 FAX ( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第 9504 号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作 成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. A - 3 5
							縮 尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名	
								損傷図15 家具配置図	

記号・数量		① F	特産品売場	No.801	復旧内容：杉板・手荷物台新設、可動棚調整	② F	カウンター厨房	No.802	復旧内容：杉板・手荷物台新設、可動棚調整	③ F	カウンター厨房																		
形 式		レジカウンター				レジ・案内カウンター＋収納				作業カウンター＋収納																			
仕上材料		天板：杉 t=36 ウレタン艶消しクリア塗装 手荷物台：杉 t=25 600×180 ウレタン艶消しクリア塗装 → ☒ 部 売り場側側面：杉 t=15 横張り O S C L カウンター内部：ポリ合板仕上げ				天板：杉 t=36 ウレタン艶消しクリア塗装 手荷物台：杉 t=25 600×180 ウレタン艶消しクリア塗装 → ☒ 部 背面側合板補修 売り場側側面：杉 t=15 横張り O S C L カウンター内部：ポリ合板仕上げ				天板：杉 t=36 ウレタン艶消しクリア塗装 棚板：杉 t=25 600×180 ウレタン艶消しクリア塗装 その他：ポリ合板仕上げ																			
金 物		丁番、引出しスライドレール、棚受けダボ、アイアン棚受け金物W150				丁番、引出しスライドレール、棚受けダボ、アイアン棚受け金物W150、棚受けL型プレート				丁番、棚受けダボ、アイアン棚受け金物W150																			
備 考		配線孔、コンセント、LAN				配線孔、コンセント、LAN ※手洗器は別途設備工事				—																			
形 状																													
記号・数量		④ F		飲食コーナー		⑤ F		情報案内コーナー		⑥ F		事務所 倉庫		No.301		復旧内容：レール取外再取付 棚金具再調整		⑦ F		特産品売場									
形 式		受取・返却カウンター				パンフレットラック				収納可動棚				黑板、カウンター															
仕上材料		天板：杉 t=36 ウレタン艶消しクリア塗装 棚板：杉 t=20 ウレタン艶消しクリア塗装				天板：杉 t=25 ウレタン艶消しクリア塗装 棚板：杉 t=20 ウレタン艶消しクリア塗装 収納扉 見掛け：メラミン合板仕上げ 収納内部：ポリ合板仕上げ				棚板上面：メラミン合板仕上げ 棚板下面：ポリ合板仕上げ 棚板小口：メラミン合板仕上げ				カウンター天板：杉 t=36 ウレタン艶消しクリア塗装 黑板枠：杉 CL 黑板：マグネット黑板 (ラワン合板 t=12 マグネット塗料の上、黑板塗料 塗布)															
金 物		棚受けL型プレート				丁番、棚受けダボ				チャンネルサポート、フールドブラケット				黑板壁掛けフック、棚受け金物															
形 状																													
特記事項		☐ : 復旧				株式会社 TONE				〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL( 076 ) 222-1046 FAX( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一				照 査 検 図 担 当				作 成 R 7 年 2 月 28 日 縮 尺 A2 S=1:50 A4 S=1:100				工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事 図面名 損傷図16 家具図 (1)				No. A-36			



記号・数量		<div><div><div>1</div><div>S</div></div>外部用ポスターケースB 2サイズ用</div> 4 <div><div><div>1</div><div>S</div></div>B 1サイズ用</div> 4	<div><div><div>2</div><div>S</div></div>内部用ポスター掲示板（壁付）A 1サイズ×4枚用</div> 1 <div>S=1／30</div>		<div><div><div>3</div><div>S</div></div>案内サイン（天井付 両面使用）</div> 1 <div><div><div>3</div><div>S</div></div></div> 1 <div>S=1／10</div>	<div><div><div>4</div><div>S</div></div>案内サイン（壁付け）</div> 2 <div><div><div>4</div><div>S</div></div></div> 8 <div>S=1／10</div>
仕上材料		フレーム：アルミ シート貼り（ブラック） 面板：透明アクリルt2、ベニア掲示シート貼りt4、樹脂スペーサーt5	フレーム：杉 t=25 CL 面板：ベニアt=9 掲示シート貼りt4、樹脂スペーサーt5		盤：アルミ シート貼り（ブラック） 文字：カッティングシート切り文字貼り	盤：アルミ シート貼り（ブラック） 文字：カッティングシート切り文字貼り
備 考		カムロック錠				
形 状			<div>復旧内容：取外再取付</div> 		<div>No.516 No.517 復旧内容：取外再取付</div> 	<div>復旧内容：取外再取付</div> 
記号・数量		<div><div><div>5</div><div>S</div></div>建物名称サイン</div> 1 <div>S=1／**</div>	<div><div><div>6</div><div>S</div></div>室名サイン</div> 1 <div>S=1／10</div>		<div><div><div>7</div><div>S</div></div>案内サイン</div> 1	<div><div><div>8</div><div>S</div></div>案内サイン</div> 4
仕上材料		文字：ステンレスHL t=5 切り文字 浮かし 脚：M5ボルト出し+化粧SUSパイプΦ8 アルミボックスシート貼りの上、文字：カッティングシート	指定書体 カッティングシート切り文字貼り （WD 4 飲食スペース側）		脚付きスチールプレートt=3 ウレタン塗装仕上げ 文字：カッティングシート貼り スチール t=3 切文字浮かし ウレタン塗装	杉板 t=20 ホワイトエイジング塗装 彫込み文字塗装
備 考						引掛けフック（サイン脱着可）
形 状					<div>復旧内容：取外再取付</div> 	<div>復旧内容：取外再取付</div> 

特記事項		<div></div> <div>〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目30番19号 TEL（076）222-1046 FAX（076）222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一</div>	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A－37
						縮 尺 A2 S=1:10 A4 S=1:20	図面名	
							損傷図17 家具表（2）	

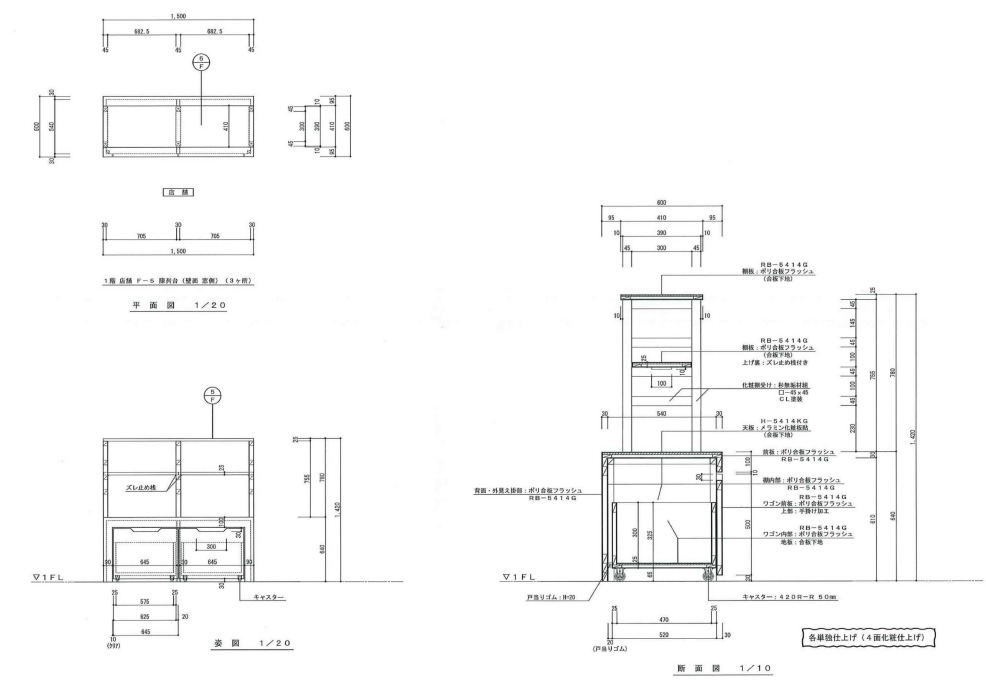


1 階 平 面 図

1 階	名 称	場 所
F-1	陳列台 (中央 大)	店 舗
F-2	陳列台 (中央 小)	店 舗
F-3	陳列台 (壁面 大)	店 舗
F-4	陳列台 (壁面 小)	店 舗
F-5	陳列台 (壁面 窓側)	店 舗
F-6	陳列台 (スロットウォール)	店 舗

※符号はKFと読み替える。

KF-5



棚上部再製作（3台）

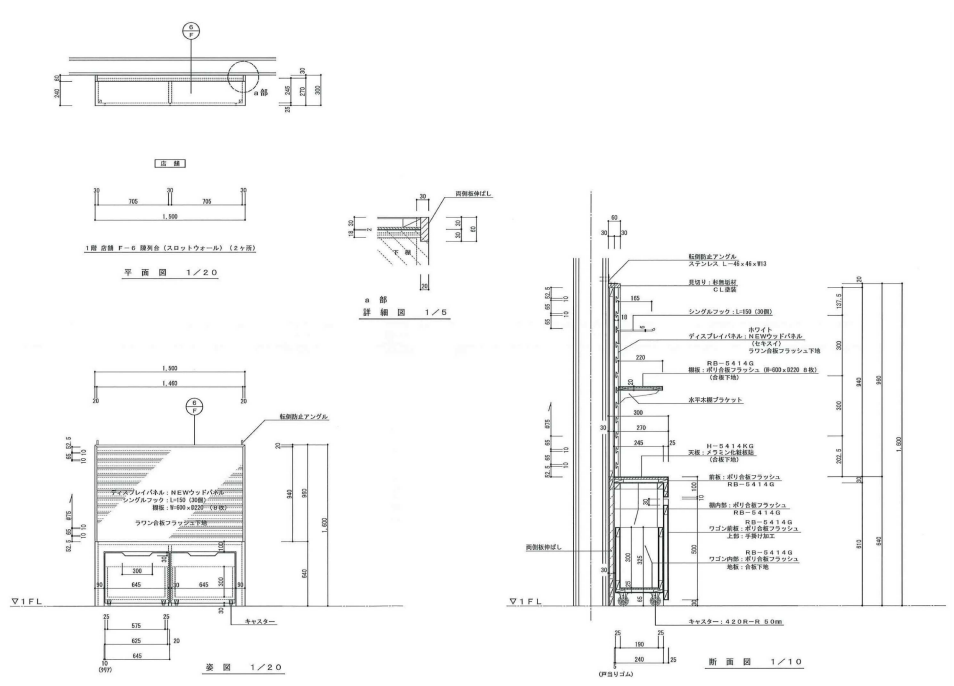
発券台

No.874

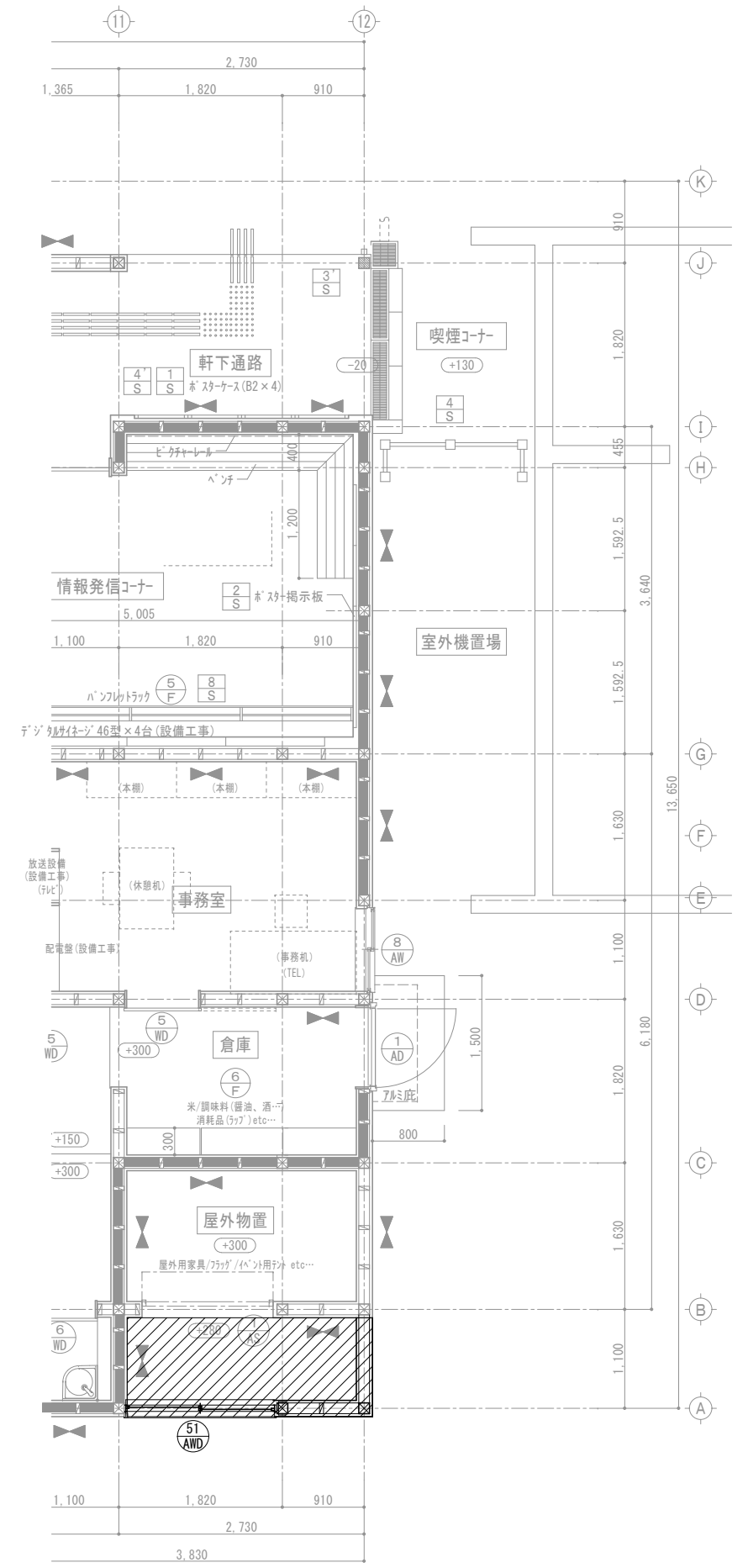
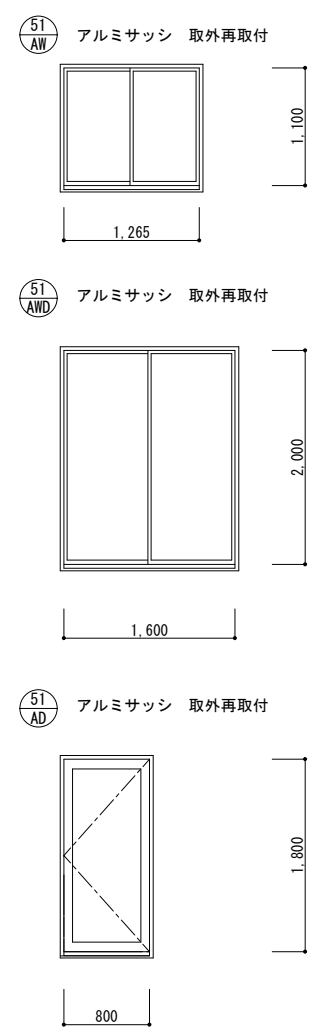
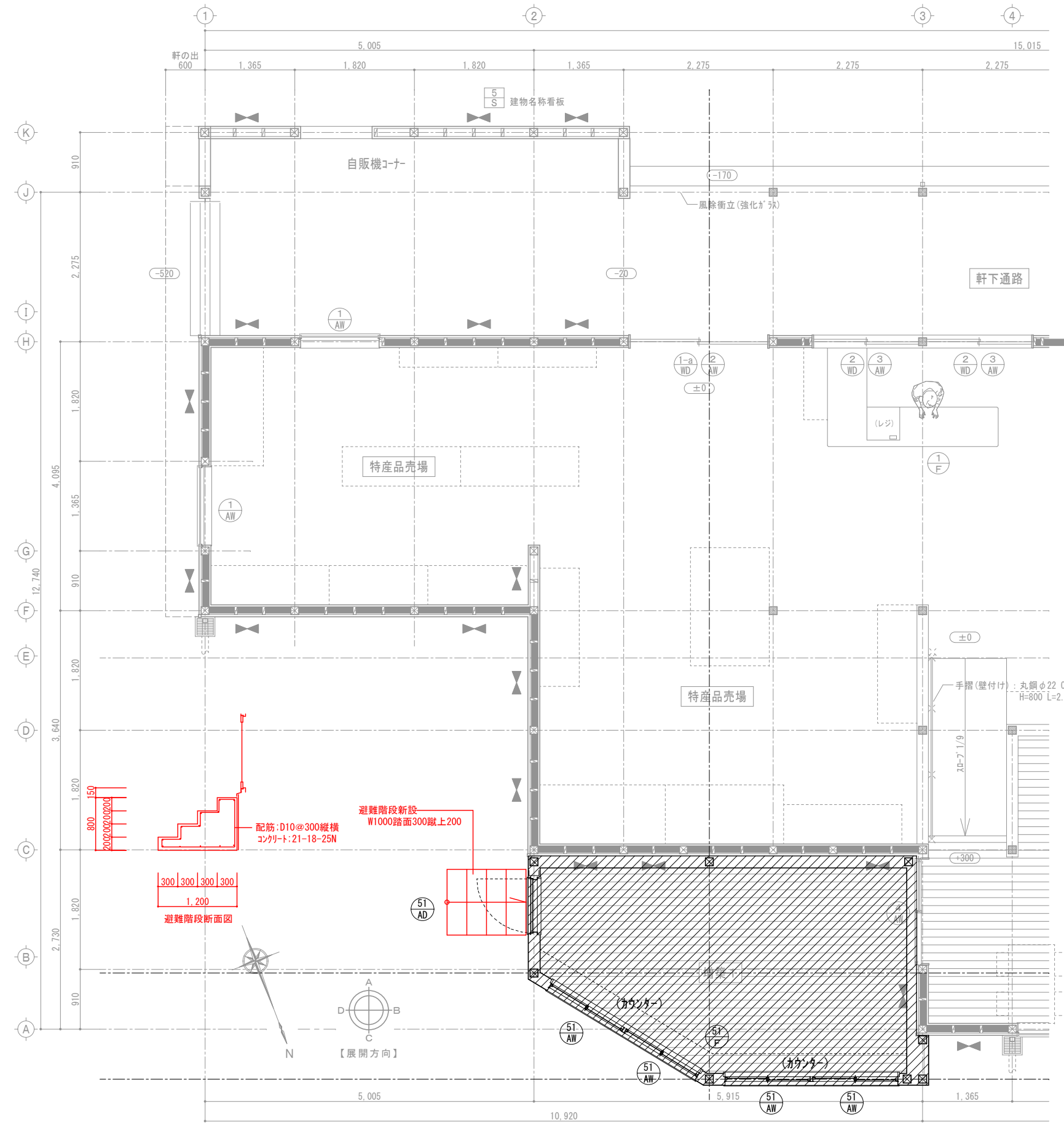


グローリーVT-B10 同等品  
写真 No.874

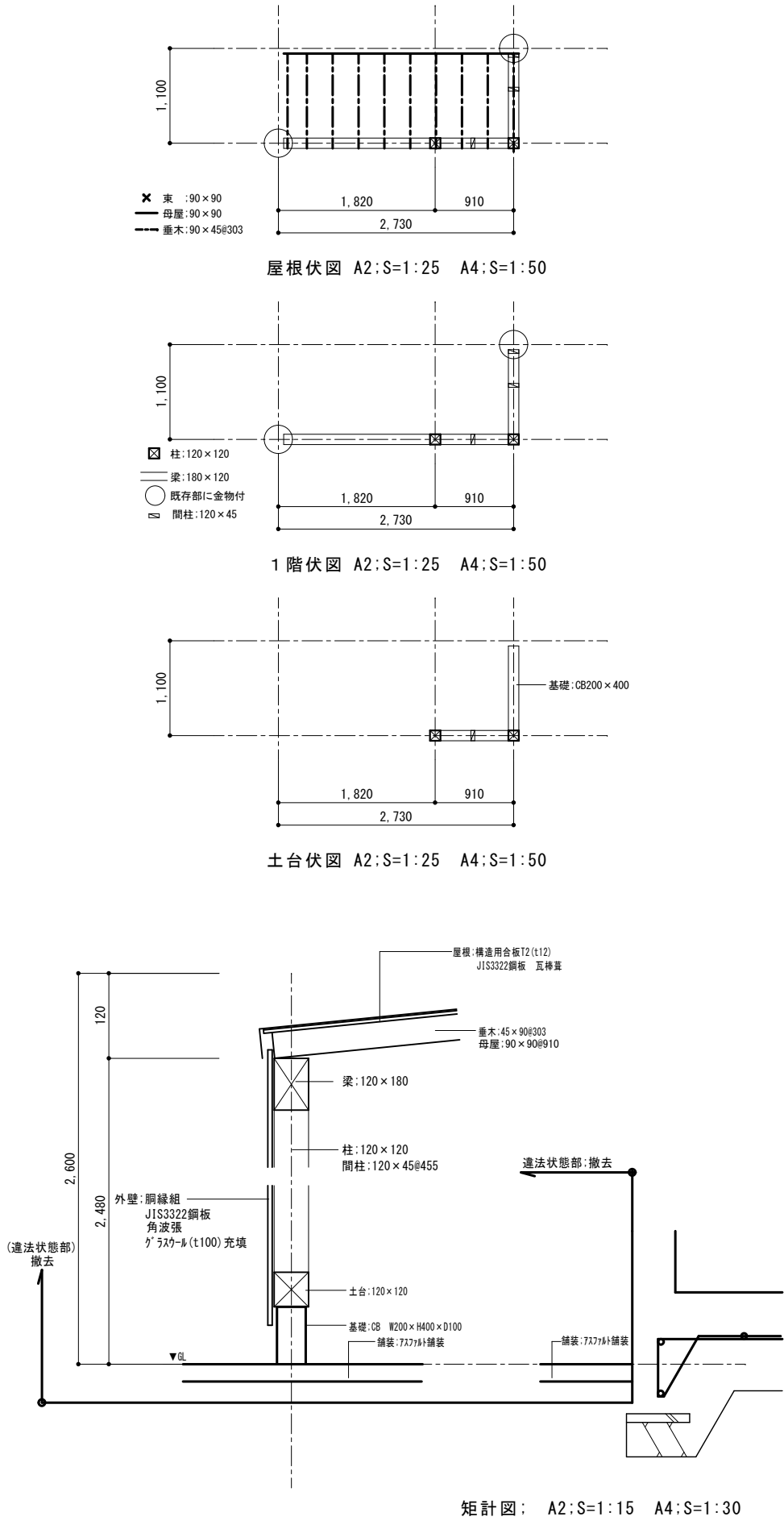
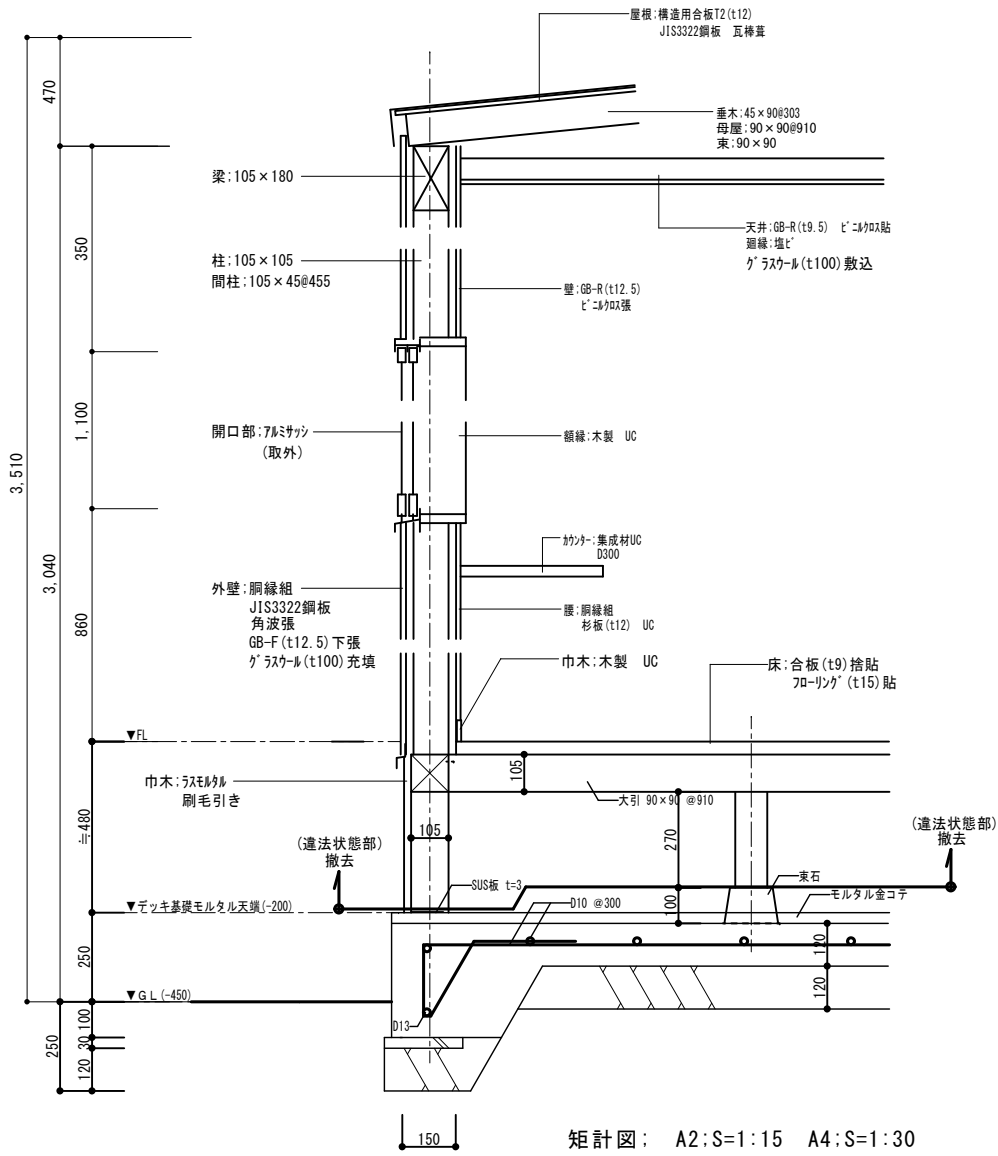
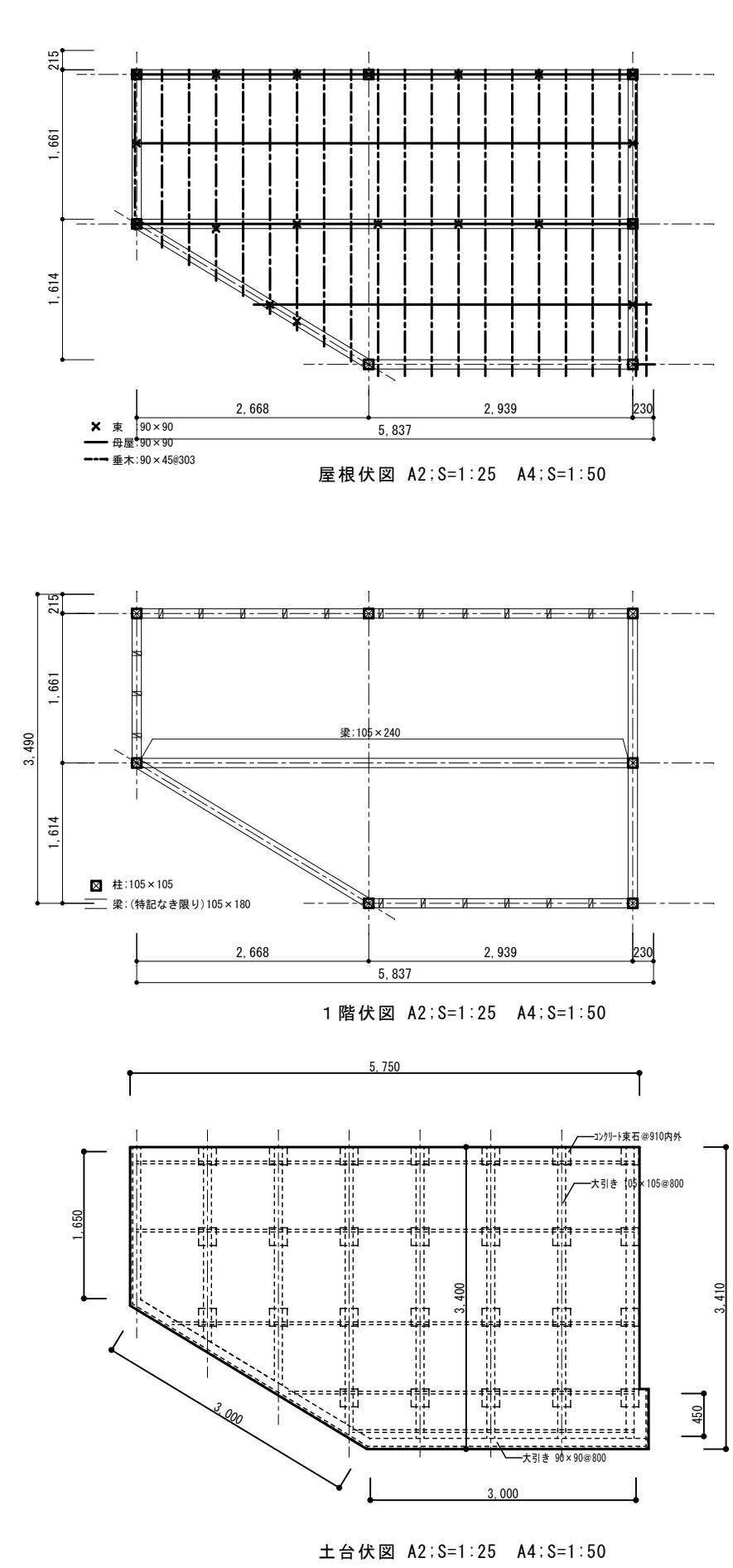
KF-6

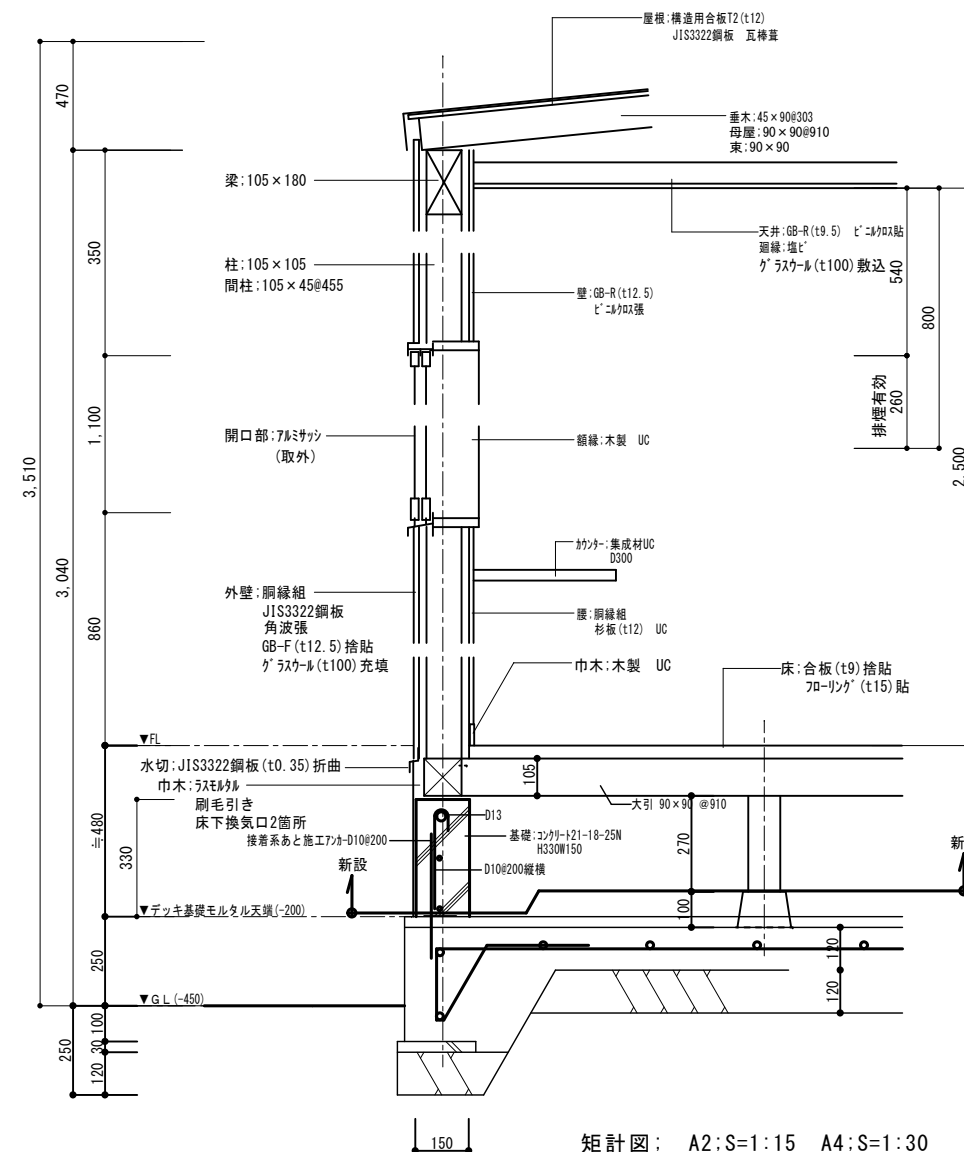
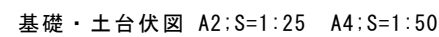


特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL( 076 ) 222-1046 FAX( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査 検 図 担 当	作 成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. A - 4 0
					縮 尺 A2 S=N. S. A4 S=N. S.	図面名 備品リスト（2）	

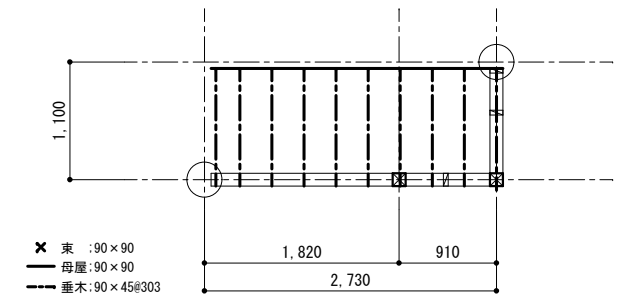


特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL (076) 222-1046 FAX (076) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 15 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  A - 5 1
							縮 尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名 解体部・増築部平面図	

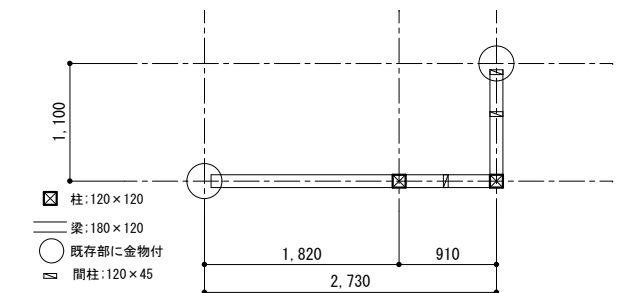




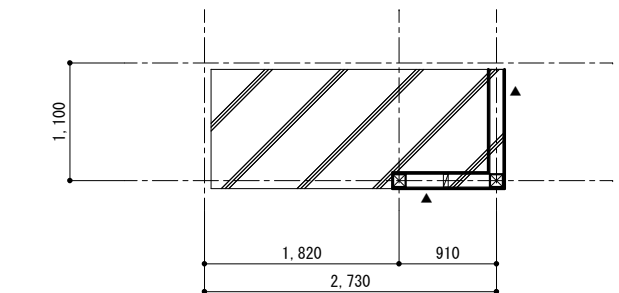
矩計図: A2;S=1:15 A4;S=1:30



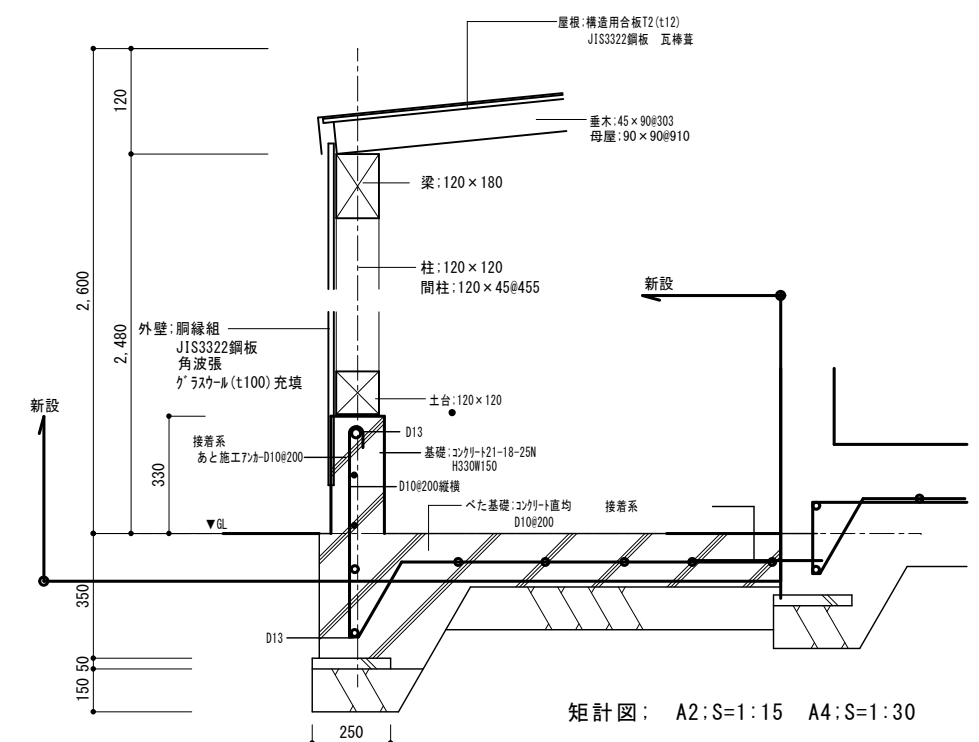
屋根伏図 A2;S=1:25 A4;S=1:50



1 階伏図 A2:S=1:25 A4:S=1:50



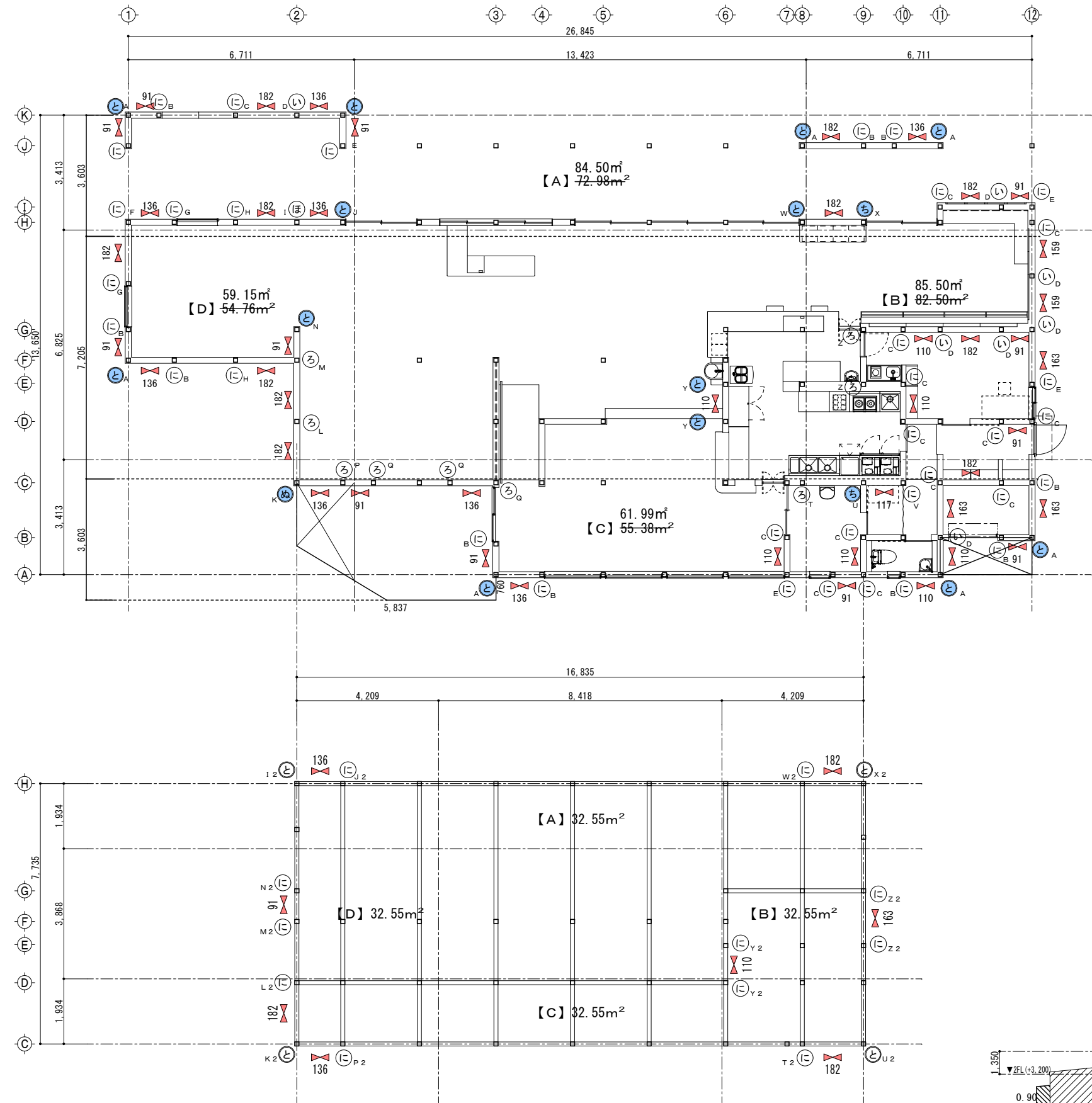
基礎・土台伏図 A2;S=1:25 A4;S=1:50



矩計図: A2; S=1:15 A4; S=1:30



※安全性を考慮し、大屋根部分を2階建として計算



1. 壁量計算

地震力に対する必要壁量

	床面積		壁係数		必要壁量
1階	317.99 296.77	×	29	=	9221.71 8606.3 cm
2階	130.22	×	15	=	1953.3 cm

風圧力に対する必要壁量

	見付面積		壁係数		必要壁量
1階-X	41.73 40.83	×	50	=	2086.5 2041.5 cm
1階-Y	102.49	×	50	=	5124.5 cm
2階-X	4.91	×	50	=	245.5 cm
2階-Y	23.64	×	50	=	1182.0 cm

壁料計算に採用する必要壁量

	地震力による 必要壁量		風圧力による 必要壁量		採用する 必要壁量
1階-X	8606.3	>	2086.5 2041.5		8606.3
1階-Y	8606.3	>	5124.5		8606.3
2階-X	1953.3	>	245.5		1953.3
2階-Y	1953.3	>	1182.0		1953.3

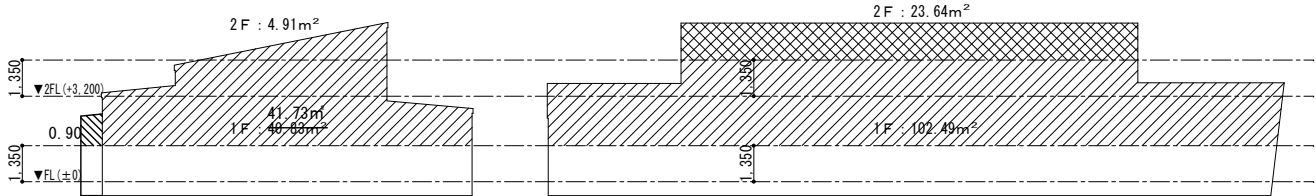
設計壁量

	壁実長		壁倍率		設計壁量	合計	必要壁量	判定
1階-X	3518.0	×	4.0	=	14072.0 cm	14072.0	> 8606.3	OK
		×	2.0	=	0.0 cm			
1階-Y	2358.0	×	4.0	=	9432.0 cm	9432.0	> 8546.3	OK
		×	2.0	=	0.0 cm			
2階-X	636.0	×	4.0	=	2544.0 cm	2544.0	> 1953.3	OK
	0.0	×	2.0	=	0.0 cm			
2階-Y	546.0	×	4.0	=	2184.0 cm	2184.0	> 1953.3	OK
	0.0	×	2.0	=	0.0 cm			

2. 壁配置

	床面積		壁係数		必要壁量		壁実長		倍率		設計壁量	合計
1階-A x	84.50 72.98	×	29	=	2450.5 2116.4 cm	<	1636	×	4.0		6544 cm	6544.0
								×	2.0		0 cm	
1階-C x	61.99 55.38	×	29	=	1797.8 1606.0 cm	<	1090	×	4.0		4360 cm	4360.0
								×	2.0		0 cm	
1階-B y	85.50 82.50	×	29	=	2479.5 2392.5 cm	<	1137	×	4.0		4548 cm	4548.0
								×	2.0		0 cm	
1階-D y	59.15 54.76	×	29	=	1715.4 1588.0 cm	<	910	×	4.0		3640 cm	3640.0
								×	2.0		0 cm	
2階-A x	32.55	×	15	=	488.3 cm	<	318	×	4.0		1272 cm	1272.0
								×	2.0		0 cm	
2階-C x	32.55	×	15	=	488.3 cm	<	318	×	4.0		1272 cm	1272.0
								×	2.0		0 cm	
2階-B y	32.55	×	15	=	488.3 cm	<	273	×	4.0		1092 cm	1092.0
								×	2.0		0 cm	
2階-D y	32.55	×	15	=	488.3 cm	<	273	×	4.0		1092 cm	1092.0
								×	2.0		0 cm	

※設計壁量が必要壁量を上回っているため、壁量充足の比算出は省略



X方向に耐える面

Y方向に耐える面

特記事項	※赤字が増築後。		〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL (076) 222-1046 FAX (076) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作 成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. A-54
							縮 尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名 壁量計算書	

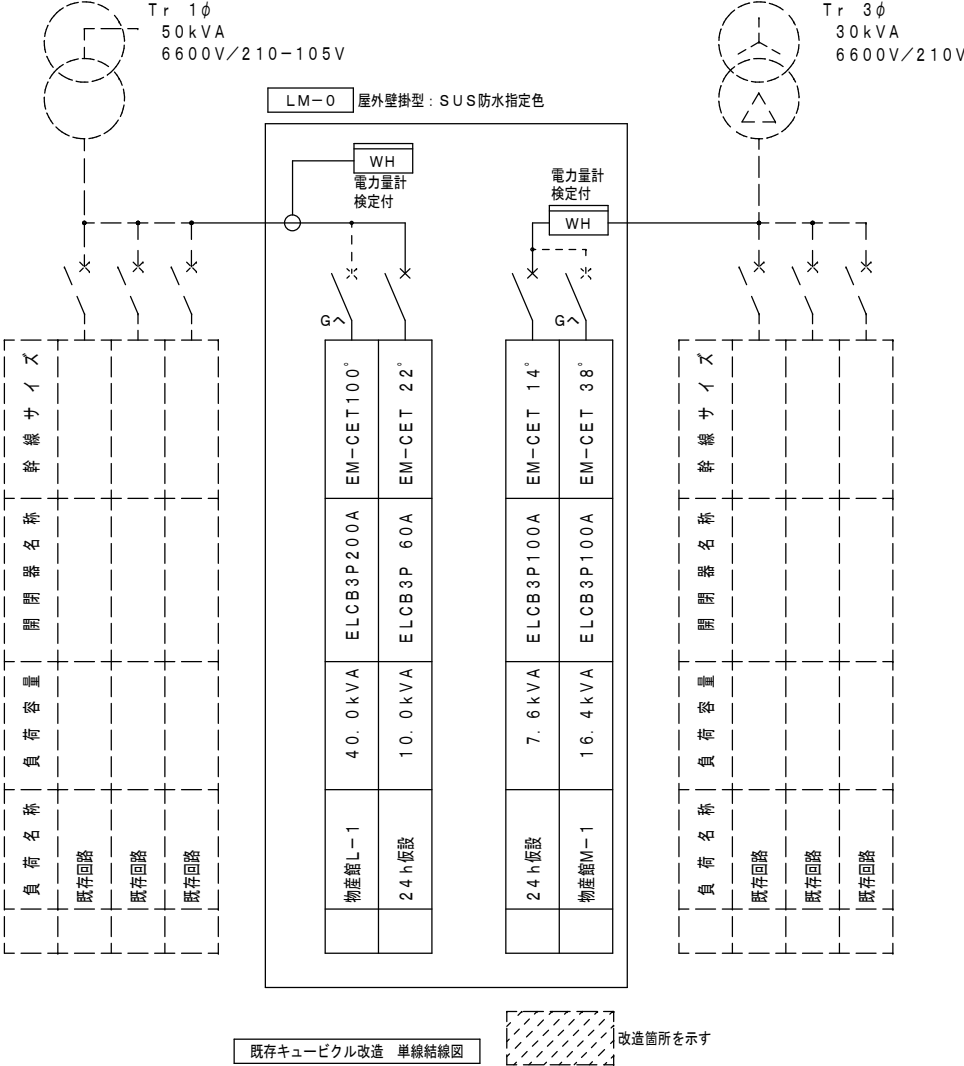
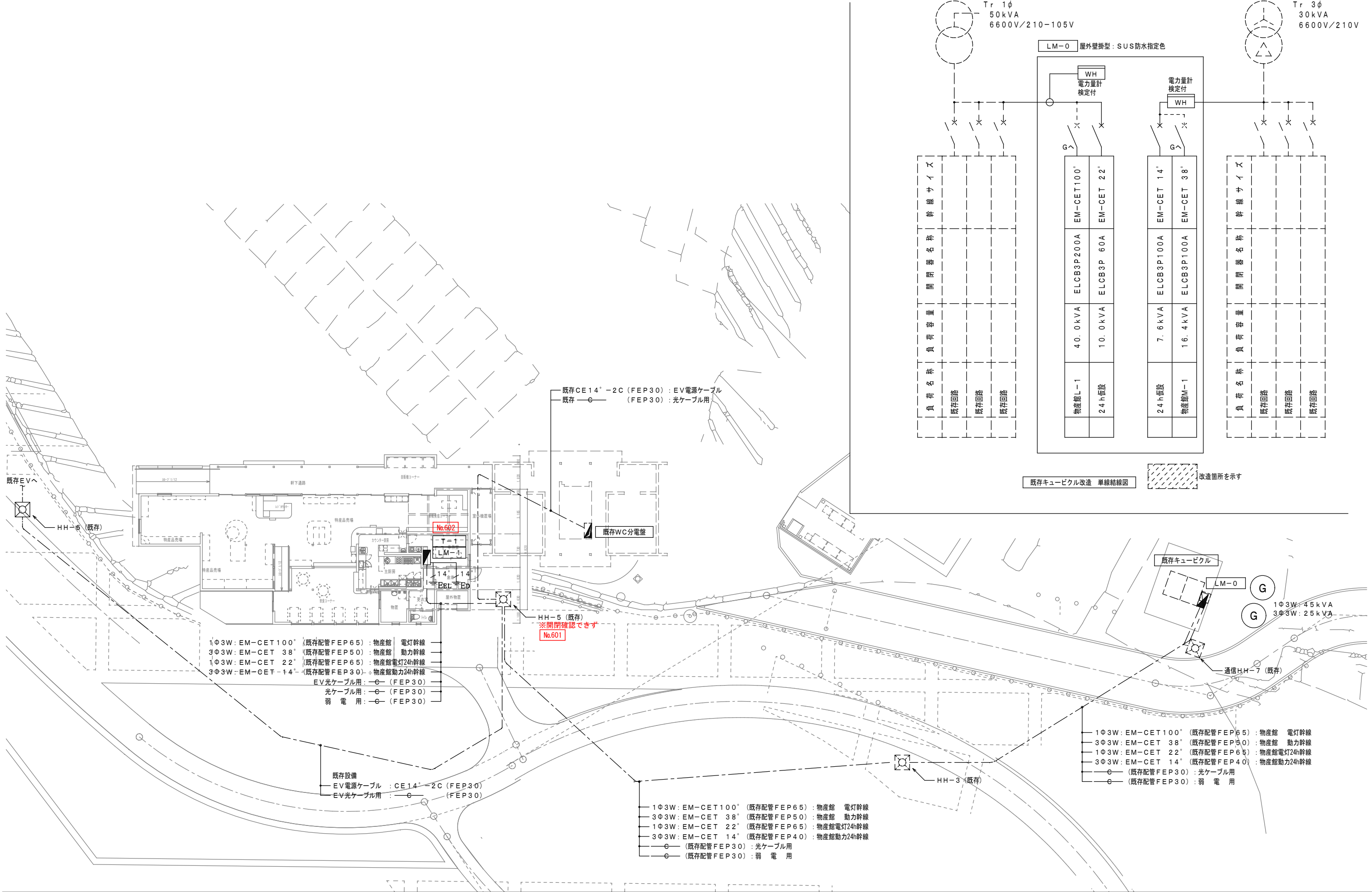


章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																														
●	35 耐震施工	次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」による。 (2-2.1.13(2)～(4)) 1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）</th></tr><tr><th>特定の施設 ・ 耐震クラス S</th><th>一般の施設 ・ 耐震クラス A</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5 &lt; 2. 0 &gt;</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1. 5</td><td>1. 0 &lt; 1. 5 &gt;</td></tr><tr><td>一階及び地下階</td><td>1. 0（1. 5）</td><td>1. 0</td></tr></table> 注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。 注2 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 注3（ ）内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< >内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。 2) 地域係数は1. 0とする。 3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とし水平地震力と同時に働くものとする。 4) 1 k N以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）		特定の施設 ・ 耐震クラス S	一般の施設 ・ 耐震クラス A	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >	中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >	一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0	● 一般共通事項	44 公共事業労務費調査の協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）	○その他	1 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地棒EB(14φ)の長さは 1,500mm以上とし、10φは、W=30 L=900mm以上、14φはW=40 L=1,200mm以上 としてもよい。 <table><tr><th>接 地 の 種 類</th><th>記 号</th><th>接地抵抗値</th><th>接 地 極</th></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>E<sub>A</sub> E<sub>B</sub> E<sub>C</sub> E<sub>D</sub></td><td>Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>E<sub>A</sub> E<sub>C</sub> E<sub>D</sub></td><td>Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ A 種</td><td>E<sub>A</sub></td><td>10 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>E<sub>B</sub></td><td>Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>E<sub>C</sub></td><td>10 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ D 種</td><td>E<sub>D</sub></td><td>100 Ω以下</td><td>E<sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>・ D種 ELCB用</td><td>E<sub>D</sub> E<sub>LCB</sub></td><td>100 Ω以下</td><td>E<sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>・ 高圧避雷器</td><td>E<sub>LH</sub></td><td>10 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ 低圧避雷器</td><td>E<sub>LL</sub></td><td>10 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ 雷保護設備</td><td>E<sub>L</sub></td><td>50 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 2連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－600 × 2</td></tr><tr><td>・ 構造体接地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 交換機用</td><td>E<sub>e</sub></td><td>Ω以下</td><td>E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>E<sub>At</sub></td><td>10 Ω以下</td><td>・ E<sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E<sub>P</sub>－900 × 1</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>E<sub>Dt</sub> E<sub>Da</sub></td><td>100 Ω以下</td><td>E<sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr><tr><td>・ 測定用</td><td>E<sub>o</sub></td><td></td><td>E<sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)</td></tr></table>	接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>B</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ A 種	E <sub>A</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ C 種	E <sub>C</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ D 種	E <sub>D</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)	・ D種 ELCB用	E <sub>D</sub> E <sub>LCB</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)	・ 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ 低圧避雷器	E <sub>LL</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ 雷保護設備	E <sub>L</sub>	50 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 2連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －600 × 2	・ 構造体接地				・ 交換機用	E <sub>e</sub>	Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組	・ 通信用	E <sub>At</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1	・ 通信用	E <sub>Dt</sub> E <sub>Da</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)	・ 測定用	E <sub>o</sub>		E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)
	設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）																																																																																				
		特定の施設 ・ 耐震クラス S	一般の施設 ・ 耐震クラス A																																																																																			
	上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >																																																																																			
中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >																																																																																				
一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0																																																																																				
接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																			
・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>B</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ 共同接地	E <sub>A</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ A 種	E <sub>A</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ C 種	E <sub>C</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ D 種	E <sub>D</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																			
・ D種 ELCB用	E <sub>D</sub> E <sub>LCB</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																			
・ 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ 低圧避雷器	E <sub>LL</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ 雷保護設備	E <sub>L</sub>	50 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 2連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －600 × 2																																																																																			
・ 構造体接地																																																																																						
・ 交換機用	E <sub>e</sub>	Ω以下	E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 組																																																																																			
・ 通信用	E <sub>At</sub>	10 Ω以下	・ E <sub>B</sub> (14φ) × 3連一 2 組 ・ E <sub>P</sub> －900 × 1																																																																																			
・ 通信用	E <sub>Dt</sub> E <sub>Da</sub>	100 Ω以下	E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																			
・ 測定用	E <sub>o</sub>		E <sub>B</sub> (10φ) × 1 (L=1,000mm)																																																																																			
一般	36 電気工事士	500kW以上の自家用電気工作物においては第一種電気工事士により施工を行うように努める。	●	② 分電盤等	1) キャビネット材質、仕上げ ・ 鋼板製指定色塗装 ・ 鋼板製溶融亜鉛めっき (1.7.3) ・ ステンレス鋼板製指定色塗装 ・ (1.7.6) 2) 電力量計 ・ 検定付 ・ 無検定 (1.7.6)	他の	高圧自動車用充電装置	・ 急速充電装置 ・ 普通充電装置（定格電圧 ・ 100V ・ 200V） (1.14.1)																																																																														
	37 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は機能をを優先し、図面と多少相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督員の承諾を受ける。また、機械室の露出配線は、金属管にて施工し、全長にわたって接地線を設ける。	電力	④ 電線の接続	・ 高圧ケーブルの末端処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。 (2.1.1)																																																																																	
	38 名札の義務	請負金額10,000千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。 <table><tr><td>55mm</td><td>17mm</td><td>40mm</td><td>6mm</td></tr><tr><td>18mm</td><td>10mm</td><td>2mm</td><td>2mm</td></tr><tr><td>2mm</td><td>13mm</td><td>42mm</td><td>2mm</td></tr><tr><td>30mm</td><td>2mm</td><td>91mm</td><td>2mm</td></tr></table>	55mm	17mm	40mm		6mm	18mm	10mm	2mm	2mm	2mm	13mm	42mm	2mm	30mm	2mm	91mm	2mm	設備	5 配管引込部	地盤変位への対応 ※ 小規模 ・ 中規模 ・ 大規模 (2.1.13(5))																																																																
	55mm	17mm	40mm	6mm																																																																																		
18mm	10mm	2mm	2mm																																																																																			
2mm	13mm	42mm	2mm																																																																																			
30mm	2mm	91mm	2mm																																																																																			
共通	39 退職金共済制度	受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後1ヵ月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。	設備	6 導入線	長さ1m以上の通線しない配管には 1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。 (2.2.9(3))																																																																																	
	40 過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。 4) 取引関係のあるダンプカー事業車が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。 7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。	設備	7 管の埋設深さ	埋設深さは原則として、構内道路、高圧ケーブル、幹線ケーブルは（・ 60cm ・ cm）、その他は（・ 30cm ・ cm）とする。 (2.12.2)																																																																																	
	事項	41 景観への配慮	本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。 ・ 重点事業 ・ 一般事業	設備	8 標識シート等	1) 地中配線に標識シート（倍折）を敷設する。 (2.12.4) 2) 埋設標（・ コンクリート製 ・ 樹脂製 ・ 鉄製） ・ 要（図示箇所） ・ 不要 (2.12.5) ・ 板状 ・ 垂直 ・ 水平 ・ 環状 ・ 網状 ・ 構造体利用 (2.17.4)																																																																																
		42 総合評価方式における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。	設備	9 雷保護接地極	1) 構造体利用等の接地極における接地抵抗測定の時期及び回数（ ） (2.18.2) 2) 一般照明の照度測定を ・ 行う（改修は対象室の改修前後） ・ 行わない (改2.1.1)																																																																																
43 電子納品		※ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（令和3年改定）</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和4年改定）</td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード <a href="http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html">http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html</a> 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBD-Rで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。	名 称	営繕工事電子納品要領（令和3年改定）	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和4年改定）	設備	⑩ 施工の試験																																																																															
名 称																																																																																						
営繕工事電子納品要領（令和3年改定）																																																																																						
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和4年改定）																																																																																						
項			設備	○ 受変電設備	1) キャビネット材質、仕上げ及び電力量計は、電力設備の分電盤等による。 (1.1.3) (1.1.5) 2) 温度上昇性能試験を ・ 行う ※ 行わない (1.9.1)																																																																																	
			設備	2 交流遮断器	操作方式 ・ 手動ばね操作方式 ・ 電気操作方式 (1.1.6(1))																																																																																	
			設備	3 高圧進相コンデンサ等	1) 進相コンデンサ絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド ・ ガス（SF6を除く） (1.1.6(3)) 2) 直列リアクトル絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド (1.1.6(4))																																																																																	
			設備	○ 電力貯蔵設備	1 交流無停電電源装置 ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 (2.2.1) 停電補償時間 分 (2.2.7) 2 電力平準化用蓄電装置 1) 機能（電力平準機能、電力補償機能及び放電停止機能）は図示による。 (2.3.1(2)) 2) 蓄電池 ※ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 ・ (2.3.5(1)) 3) 蓄電池の容量、期待寿命、充放電回数及び放電時間は図示による。 (2.3.5(2))																																																																																	
			設備	○ 1 ディーゼル発電装置	運転時間 時間 (1.1.1(5))																																																																																	
			設備	2 太陽光発電装置	1) 自立運転を ・ 行う ・ 行わない (1.7.1(3)) 2) 太陽電池アレイの公称出力は、図示による。 (1.7.2(2))																																																																																	
			設備	3 その他	1) 燃料油の種類及び配管等材料は、図示による。 (1.1.7.1) (1.1.8) 2) 系統連系を ・ する ・ しない (1.4.1(ㄱ))等																																																																																	
			設備	● 通信・情報設備	1 端子盤等	キャビネット材質及び仕上げは、電力設備の分電盤等による。 (1.4.2)																																																																																
			設備	2 機器仕様	詳細機器仕様は、図示による。 (1.5.1)等																																																																																	
			設備	3 標識シート等	標識シート等は、電力設備の標識シート等による。 (2.11.3) (2.11.4)																																																																																	
			設備	④ テレビ共同受信設備	受信調査を ・ 行う（ チャンネル） ・ 行わない (2.19.3)																																																																																	
			設備	○ 中央監視制御設備	1 警報盤	信号の伝送方式は、図示による。 (1.2.1)																																																																																
			設備	2 記録装置	印字方式は、図示による。 (1.4.4)																																																																																	
			設備																																																																																			
			設備																																																																																			
			設備																																																																																			

工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	番号 E－02
図面名 工事仕様書（電気設備） 2／3	縮尺 ――
設 計 輪島市建設部まちづくり推進課	

章	項 目	特 記 事 項
● ①  そ  の  他	輪島市 2日工事	<p>1) 適用</p> <p>工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。</p> <p>なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。</p> <p>※ 発注者指定型</p> <p>○ 施工者希望型（災害復旧工事の場合のみ）</p> <p>2) 発注者指定型の内容</p> <p>（１）当初設計において、月単位の週休2日（４週8休相当）にかかる補正係数を乗じている。</p> <p>（２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得〔計画〕表（様式1）を作成し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（５）受注者は、工期最終日まで、に、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、通期の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、通期の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p> <p>3) 施工者希望型の内容</p> <p>（１）受注者は、現場着手までに、協議書（様式2）により週休2日工事の実施の有無を発注者と協議すること。協議の結果、週休2日工事を行わない場合は、以下の（２）から（７）は実施しない。</p> <p>（２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得〔計画〕表（様式1）を作成し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（５）受注者は、工期最終日まで、に、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（７）発注者は、月単位の週休2日（４週8休相当）または通期の週休2日（４週8休相当）の確保が確認できた場合（見込まれる場合）は補正係数を乗じた積算を行い、請負代金額を補正する。</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p>
	2 余裕期間制度 試行工事	<p>1) 適用</p> <p>・ 対象</p> <p>※ 対象外</p> <p>2) 余裕期間制度対象工事の内容</p> <p>（１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。</p> <p>（２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。</p> <p>（３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。</p> <p>（４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。</p> <p>（５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。</p> <p>（６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。</p> <p>（７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。</p> <p>（８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。</p> <p>（９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。</p> <p>（１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。</p> <p>（着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内</p>

工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	番号 E-03
図面名 工事仕様書（電気設備） 3 / 3	縮尺 _____
設 計 輪島市建設部まちづくり推進課	



- 1φ3W: EM-CET100° (既存配管FEP65): 物産館 電灯幹線
- 3φ3W: EM-CET 38° (既存配管FEP50): 物産館 動力幹線
- 1φ3W: EM-CET 22° (既存配管FEP65): 物産館電灯24h幹線
- 3φ3W: EM-CET 14° (既存配管FEP30): 物産館動力24h幹線
- EV光ケーブル用: ○ (FEP30)
- 光ケーブル用: ○ (FEP30)
- 弱電用: ○ (FEP30)

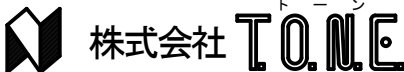
既存設備  
EV電源ケーブル: CE14°-2C (FEP30)  
EV光ケーブル用: ○ (FEP30)

HH-5 (既存)  
※開閉確認できず  
No.601

- 1φ3W: EM-CET100° (既存配管FEP65): 物産館 電灯幹線
- 3φ3W: EM-CET 38° (既存配管FEP50): 物産館 動力幹線
- 1φ3W: EM-CET 22° (既存配管FEP65): 物産館電灯24h幹線
- 3φ3W: EM-CET 14° (既存配管FEP40): 物産館動力24h幹線
- (既存配管FEP30): 光ケーブル用
- (既存配管FEP30): 弱電用

- 1φ3W: EM-CET100° (既存配管FEP65): 物産館 電灯幹線
- 3φ3W: EM-CET 38° (既存配管FEP50): 物産館 動力幹線
- 1φ3W: EM-CET 22° (既存配管FEP65): 物産館電灯24h幹線
- 3φ3W: EM-CET 14° (既存配管FEP40): 物産館動力24h幹線
- (既存配管FEP30): 光ケーブル用
- (既存配管FEP30): 弱電用

1φ3W: 45kVA  
3φ3W: 25kVA



〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号  
TEL (076) 222-1046 FAX (076) 222-3046  
一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号  
一級建築士登録 第341008号  
構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一


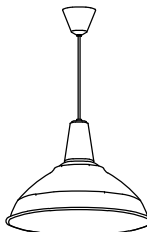
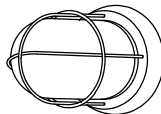

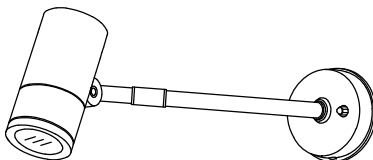
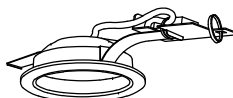
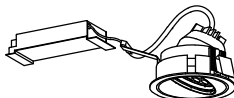
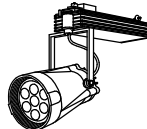
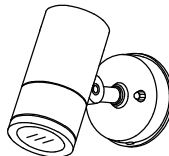
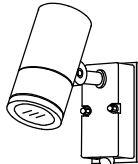

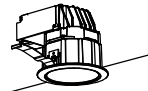

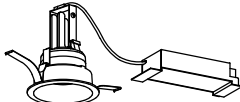
照査 検図 担当  
作成 R7年2月28日  
縮尺 A2 S=1:200  
A4 S=1:400

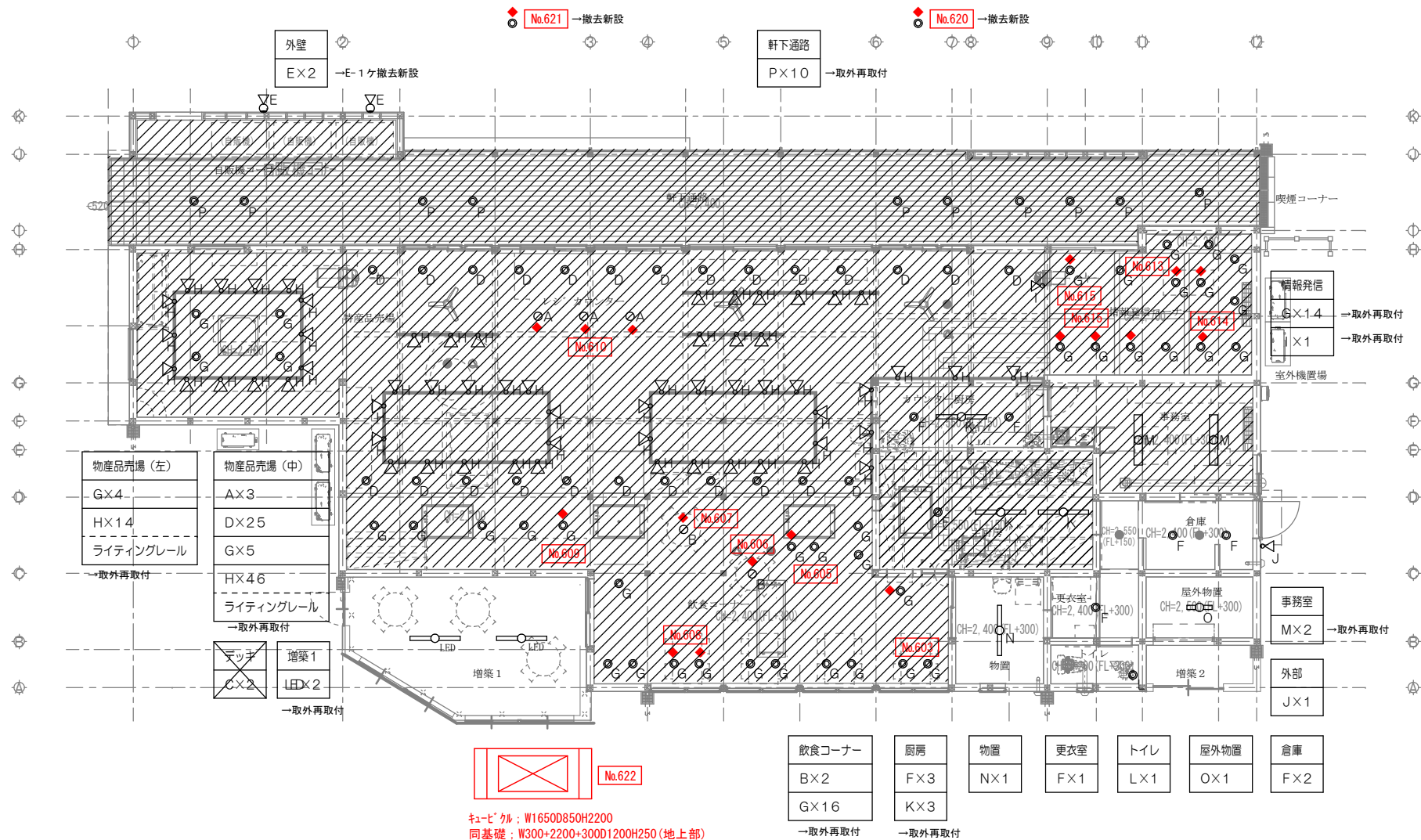
工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事  
図面名 損傷図1 構内配電線路図

No.  
E-04



照明器具 姿図

A	コードペンダント（LED）	B	コードペンダント（LED）	C	ブラケット（LED）	D	ダウンライト（LED）	E	ブラケット（LED）	F	ダウンライト（LED） 調光兼用タイプ	G	ユニバーサル（LED） 調光兼用タイプ
 LZP-91139YT LED 4.5W 径φ115 高90埋込穴φ85 埋込深56mm		 LZP-91176YT LED 11.5W 径φ430 高285 全長700~1500mm		 DWP-36642L LED 15W (E17) ×1灯 径φ135 高180mm		 NNN74080ZLE9 LED 20W 径φ170		 DOL-3868YB LED 16W 径φ80 長165 出465mm		 LZD-91284A LED 18W (省エネ出力) 径φ160 埋込穴φ150 埋込深49mm		 LZD-60693A LED 16W	
H	スポットライト（LED） 調光兼用タイプ	I	スポットライト（LED）	J	スポットライト（LED）	K	LDL40×1 笠なし防水型（26W）	L	ダウンライト60型（LED）	M	直付40形 2400ルーメン（24W）	P	ダウンライト（LED） 屋外用
 LZS-60005L LED 16W 径φ79 長110 吊高137mm		 DOL-4329YW LED 16W 径φ90 長170 出160mm		 DOL-4018YS LED 16W 径φ80 長165 出200mm		 NNFW41051 2500ルーメン		 径φ100 7W NNN71200LE1		N	直付40形 2000ルーメン（19W）	 M：LSS1-3150に準ずる	 LZW-60787A LED 16W φ111 埋込穴φ100 埋込深155mm
								O	直付20形 1600ルーメン（17W）				

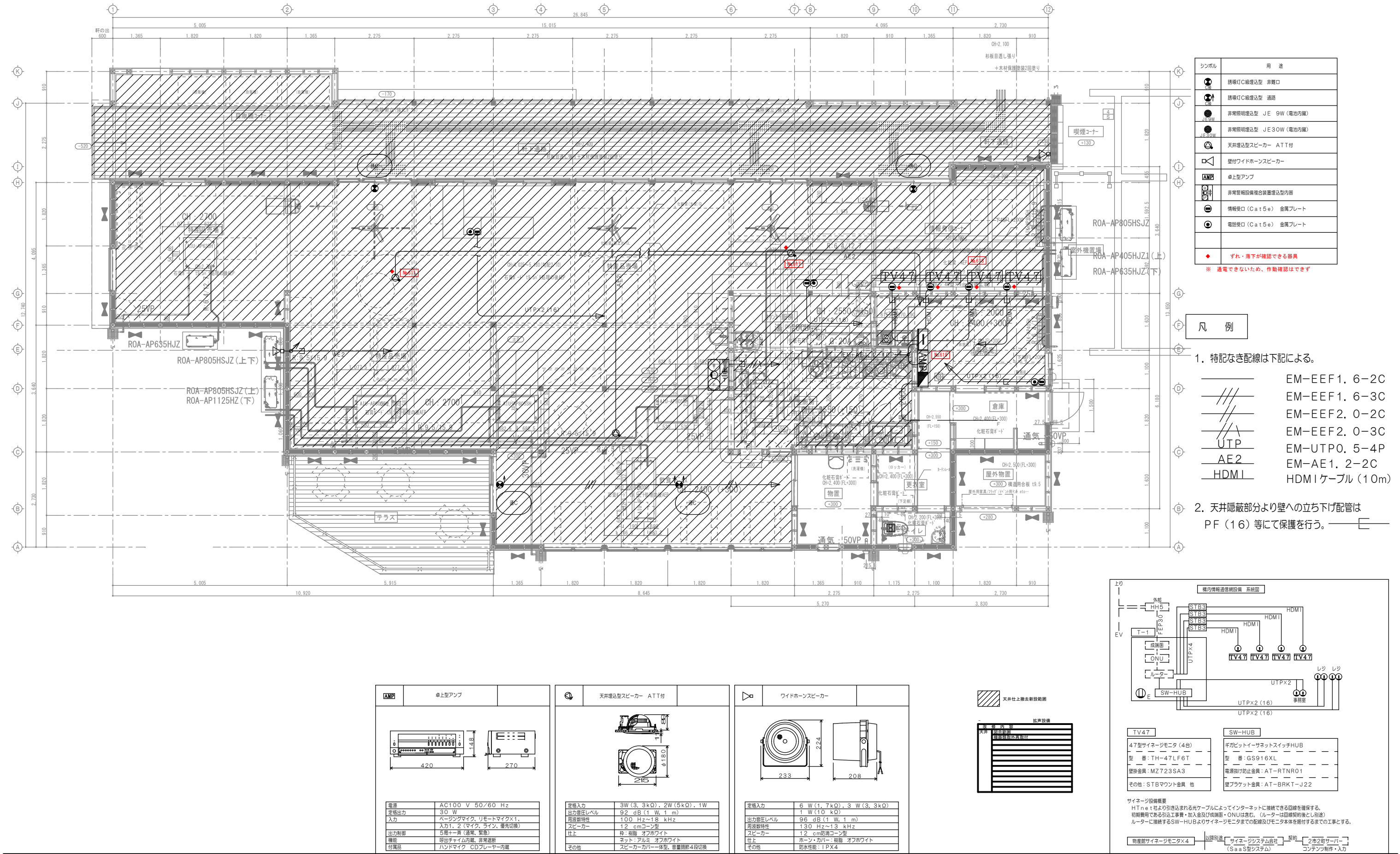












工 事 仕 様 書 （機械設備）

## I. 工事概要

1. 工事名称 A-02による。

2. 工事場所 A-02による。

3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 (余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。)

指定部分	・ 無	・ 有 (指定期日: 令和 年 月 日)	対象部分 (	)
概成工期	・ 無	・ 有 (令和 年 月 日)		(1.2.1(6))

#### 4. 建物概要

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
広域親光施設	木造	1階建(地階 階.塔屋 階)	273.60	4項	
増築1	木造	1階建	18.22	4項	
増築2	木造	1階建	3.00	4項	

## 5. 別契約の関連工事

建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事 ・ 空調調和設備工事 ・ 構内交換設備工事  
昇降機設備工事 ・ 自家発電設備工事 ・ 厨房機器設備工事 ・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事

## 6. 工事内容

○撤去新設及び取外再取付

去新設

## II. 工事仕様

1. 一般仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項	目	特 記 事 項	A-02による。
● 一 般 事 項	1	工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。	(1.1.4)
	2	施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。	(1.1.5(3))
	3	他工事との 取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表-1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。	(1.1.7)
	4	工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。	(1.2.4)
	5	施工条件	・ 新築工事 ・ 改修工事 ( ・ 執務並行改修 ・ 全館無人改修 ) ・ 工事用車両の駐車場所等は図示による。	(1.3.3) (改1.3.3)
	6	発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの ( ・ ・ 特別管理産業廃棄物 ( ・ 廃石綿 (エルボ保温、パッキン) ・ ・ 現場で再利用を図るもの ( ・ ・ 再資源化を図るもの ( ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 )	(1.3.9(2)) ( ( (改1.4.3)
	7	再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。	(改1.4.3)

●

一

般

事

項

●

共

通

事

項

8 事前調査

9 養生

10 撤去等

11 環境への配慮

12 機材の品質等

13 一級技能士の適用

14 工事の創意工夫等

15 化学物質の濃度測定

16 中間検査

17 完成図

18 保全に関する資料

19 足場類

20 工事用水等

21 仮設間仕切・扉

1 総合試運転調整

石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。

2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ・ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油

2) 石綿の撤去は、図示による。

3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。

・ 吸収冷温水機 ・ 水蓄熱式空調機器 ・ 送風機 ・ ポンプ

・ ガスエンジンヒートポンプ式空調機 ・ 下塗用塗料（重防食）

・ 大便器 ・ 自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・ 自動水栓

2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。

① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③ 下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。

ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。

2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。

3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。

4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

機 材 名 称			
ボイラー	空気調和機	ポンプ類	タンク
温水発生機	空気清浄装置	ダクト付属品	消火装置
冷凍機	全熱交換器	自動制御	厨房機器
冷却塔	送風機類	衛生器具ユニット	鉄鋳製ふた

・ 配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）

・ 熱絶縁施工（保温保冷工事） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備）

・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機据付け、整備及び冷媒配管）

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない

測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

中間検査の実施 ・ 無 ・ 有（時期 ・ 天井下地完了時 ・ ）

原因及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。

保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。

①建築物等の利用に関する説明書※

②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）

③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも）

④官公署届出書類

※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き

手引きのダウンロード [http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun\\_kentikubuturiyou\\_tebiki.htm](http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm)

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

・ 既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・ 水道局引込み等

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。

・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定

・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定

・ 飲料水の水質測定（・ 11項目 箇所 ・ 16項目 箇所）

・ 雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）

章	項 目	特 記 事 項
●	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（・ 5K ・ 10K（水道直結等の図示部分））とする。（2.2.1） 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。（2.2.12） 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。（2.4.1(3)） 標準図（・ (a) フレキシブルジョイント ・ (b) ・ (c) ）による。（2.5.7(1)） 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、（・ プレス ・ 拡張 ・ ）接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、（・ 電気融着 ・ メカニカル）とする。（2.5.10(2)） 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない （2.5.15.12(9)） 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。（2.7.1(8)） 8) 埋設表示用テープ（倍折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。（2.7.1(9)） 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路（・ 60cm ・ ）、（2.7.2） その他（・ 30cm ・ ）以上とする。
	3 防凍保温	屋外露出部（給水管、消火管、膨張管、冷温水管、弁類を含む）は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。（3.1.6）
	4 塗装	下記の垂鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。（3.2.1.1） ○ 機械室（エレベーター機械室） ○ 電気室（自家発電室） ○ 倉庫 ・
	5 吊り及び支持金物の防錆	多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。（3.2.2.1）
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける〔・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度）〕 2) 監督員事務所に設ける備品等（4.1.1(4)） ・ 保護帽 ・ 墜落制止用器具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ ・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。 ・ 快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案、協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。
	7 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	
	8 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例）（4.1.1(9)） <div><div>上段の地色は白色 文字は青色</div><div><div>工 事 名</div><div>工 期 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日</div><div>発注者 石川県土木部営繕課</div><div>設 計 （建築・設備委託業者名を記入）</div><div>監 理 （建築・設備委託業者名を記入）</div><div>施 工 建 築 （施工業者名を記入）</div><div>電 気 （施工業者名を記入）</div><div>機 械 （施工業者名を記入）</div><div>この工事は、週休2日に取り組んでいます</div></div><div>60cm ～75cm</div><div>90cm</div></div> <div>設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。</div>
	9 埋め戻し土	※ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂 （4.2.1(4)）
	10 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 （4.2.1(4)） ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理 （「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等：
	項	11 はつり
12 あと施工アンカー		1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。（改5.2.1） 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない （改5.2.3）
13 県内産材料		石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。
14 材料検査		請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 熱源機器 ・ 空調機器 ・ ポンプ類 ・ ダクト及び付属品 ・ 衛生器具 ・ タンク類 ・ 消火機器 ・ 合併処理槽 ・ 厨房機器 ・
15 工事写真等の記録		1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。

最終改訂 R 5. 4. 1

工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	番号 M-01
図面名 工事仕様書（機械設備） 3枚組	縮尺 _____

輪島市建設部まちづくり推進課



章	項 目	特 記 事 項
●  そ  の  他	① 輪島市 2日工事	<p>1) 適用</p> <p>工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。</p> <p>なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。</p> <p>※ 発注者指定型</p> <p>○ 施工者希望型（災害復旧工事の場合のみ）</p> <p>2) 発注者指定型の内容</p> <p>（１）当初設計において、月単位の週休2日（４週8休相当）にかかる補正係数を乗じている。</p> <p>（２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得〔計画〕表（様式1）を作成し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（５）受注者は、工期最終日まで、に、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、通期の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、通期の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p> <p>3) 施工者希望型の内容</p> <p>（１）受注者は、現場着手までに、協議書（様式2）により週休2日工事の実施の有無を発注者と協議すること。協議の結果、週休2日工事を行わない場合は、以下の（２）から（７）は実施しない。</p> <p>（２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。</p> <p>（３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得〔計画〕表（様式1）を作成し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。</p> <p>（５）受注者は、工期最終日まで、に、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。</p> <p>（６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。</p> <p>（７）発注者は、月単位の週休2日（４週8休相当）または通期の週休2日（４週8休相当）の確保が確認できた場合（見込まれる場合）は補正係数を乗じた積算を行い、請負代金額を補正する。</p> <p>なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。</p>
	2 余裕期間制度 試行工事	<p>1) 適用</p> <p>・ 対象</p> <p>※ 対象外</p> <p>2) 余裕期間制度対象工事の内容</p> <p>（１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。</p> <p>（２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。</p> <p>（３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。</p> <p>（４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。</p> <p>（５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。</p> <p>（６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。</p> <p>（７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。</p> <p>（８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。</p> <p>（９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。</p> <p>（１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。</p> <p>（着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内</p>
工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事		番号 M-03
図面名 工事仕様書（機械設備） 3 / 3		縮尺 _____
設 計		輪島市建設部まちづくり推進課



機 器 表						
記 号	品 名	仕 様 規 格	台 数	電 気 容 量	品 番	復旧内容
						撤去新設（保証期間外のため）
PAC-1	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 天井カセット型(1方向吹出) 冷房能力 7.1KW(1.9～8.0KW) 暖房能力 8.0KW(1.3～10.6KW) ファン 0.030KWx1Φx200V	3	ファン 0.030KWx1Φx200V	ASSA08055JM・1	
	エアコン	風量 19.0M3/H 前面吹出口 角型フレキシブルダクト 天井化粧パネル ドレンアップメカ リモコン			AP805HSJZ・1(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 1.4KW ファン 0.600KWx1Φx200V (耐塩仕様) 架台 2段式(亜鉛ドブ漬け) コンクリート基礎 1000x500x200Hx2		圧縮機 1.4KW ファン 0.060KWx1Φx200V		
PAC-2	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 天井カセット型(4方向吹出) 冷房能力 5.6KW(1.5～6.3KW) 暖房能力 5.6KW(1.5～7.1KW) ファン 0.014KWx1Φx200V	1	ファン 0.014KWx1Φx200V	AUEA06365JM	撤去新設（保証期間外のため）
	エアコン	風量 17.5M3/H 化粧パネル ドレンアップメカ リモコン			AP635HJZ(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 1.1KW ファン 0.043KWx1Φx200V (耐塩仕様) 架台 (亜鉛ドブ漬け) コンクリート基礎 1000x500x200H		圧縮機 1.1KW ファン 0.043KWx1Φx200V		
PAC-3	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 天井カセット型(2方向吹出) 冷房能力 10.0KW(2.2～11.2KW) 暖房能力 11.2KW(2.2～12.5KW) ファン 0.070KWx1Φx200V	1	ファン 0.070KWx1Φx200V	AWEA11255M	撤去新設（保証期間外のため）
	エアコン	風量 16.0M3/H 天井パネル ドレンアップメカ リモコン			AP1125HZ(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 2.5KW ファン 0.063KWx3Φx200V (耐塩仕様) 架台 (亜鉛ドブ漬け) コンクリート基礎 1000x500x200Hx1		圧縮機2.5KW ファン 0.063KWx3Φx200V		
PAC-4	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 天井カセット型(1方向吹出) 冷房能力 5.6KW(1.5～6.3KW) 暖房能力 6.3KW(1.5～7.1KW) ファン 0.030KWx1Φx200V	1	ファン 0.030KWx1Φx200V	ASEA06355JM	撤去新設（保証期間外のため）
	エアコン	風量 16.0M3/H 天井パネル ドレンアップメカ リモコン			AP635HJZ(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 1.1KW ファン 0.043KWx1Φx200V (耐塩仕様) 架台 2段式 (亜鉛ドブ漬け) コンクリート基礎 1000x500x200Hx1		圧縮機 1.1KW ファン 0.043KWx1Φx200V		
PAC-5	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 壁掛型 冷房能力 7.1KW(1.5～8.0KW) 暖房能力 8.0KW(1.5～9.0KW) ファン 0.030KWx1Φx200V	1	ファン 0.030KWx1Φx200V	AKSA08055JM・1	撤去新設（保証期間外のため）
	エアコン	風量 17.0M3/H リモコン			AP805HSZ・1(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 1.4KW ファン 0.043KWx1Φx200V (耐塩仕様) 架台 (亜鉛ドブ漬け) コンクリート基礎 1000x500x200H		圧縮機 1.4KW ファン 0.043KWx1Φx200V		
PAC-6	空冷ヒートポンプパッケージ	室内機 壁掛型 冷房能力 3.6KW(1.0～4.0KW) 暖房能力 4.0KW(1.0～5.4KW) ファン 0.030KWx1Φx200V	1	ファン 0.030KWx1Φx200V	AKEA04055JM・1	撤去新設（保証期間外のため）
	エアコン	風量 14.0M3/H リモコン			AP405HJZ(耐塩仕様)	
		屋外機 圧縮機 0.75KW ファン 0.043KWx1Φx200V (耐塩仕様)		圧縮機 0.75KW ファン 0.043KWx1Φx200V		
FE-1	ストレートシロッコファン	厨房用 #11/2x3Φx200Vx0.75KWx1900M3/Hx420Pa ステンレス製深形フード 300Φ(防虫網付)	1	ファン 0.75KWx3Φx200V	BFS-210TX	取外再取付
FE-2	ストレートシロッコファン	厨房用 #11/2x1Φx100Vx0.30KWx1200M3/Hx220Pa ステンレス製深形フード 250Φ(防虫網付)	1	ファン 0.300KWx1Φx100V	BFS-150SX	取外再取付
FE-3	天井埋込換気扇	台所用 金属製 VD-15ZV2 150Φ100Vx20.5Wx200m3/x125Pa(急速) 100Vx5.3Wx160M3/Hx140Pa(強) 100Vx2.8Wx85M3/Hx45Pa(弱) 24時間換気	1			取外再取付
		ステンレス製深形フード 100Φ(防虫網付)				
FE-4	天井埋込換気扇	VD-10Z9 100Φx100Vx9.3Wx80M3/Hx20Pa ステンレス製深形フード 100Φ(防虫網付)	1			—
FE-5	有圧換気扇	給気専用 EWG-40CSA-Q 羽根径 400Φx100Vx138Wx3500M3/Hx17Pa ステンレス製ウエザーカバー QW-40SB(防鳥網付き) 電動シャッター PS-40SMA	1			取外再取付
		24時間換気				
FE-6	有圧換気扇	排気専用 EWF-25ASA 羽根径 250Φx100Vx50Wx800M3/Hx48Pa ステンレス製ウエザーカバー QW-25SB(防鳥網付き) 電動シャッター PS-25SMA	1			取外再取付
		24時間換気				
OA-1	給気グリル	P-18GHF4(フィルター付) ステンレス製深方形フード 150φ(防虫網付)	1			—
CF-1	天井扇	C90WC 羽根径 900Φx100Vx56Wx11400M3/H(強) 100Vx34Wx6550M3/H(中) 100Vx10.5Wx1700M3/H(弱)	3			取外再取付

※全機種試運転調整

特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL(076)222-1046 FAX(076)222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  M - 0 4
							縮尺 A2 S=N.S. A4 S=N.S.	図面名 損傷図1 空調換気設備機器表	



衛生器具表

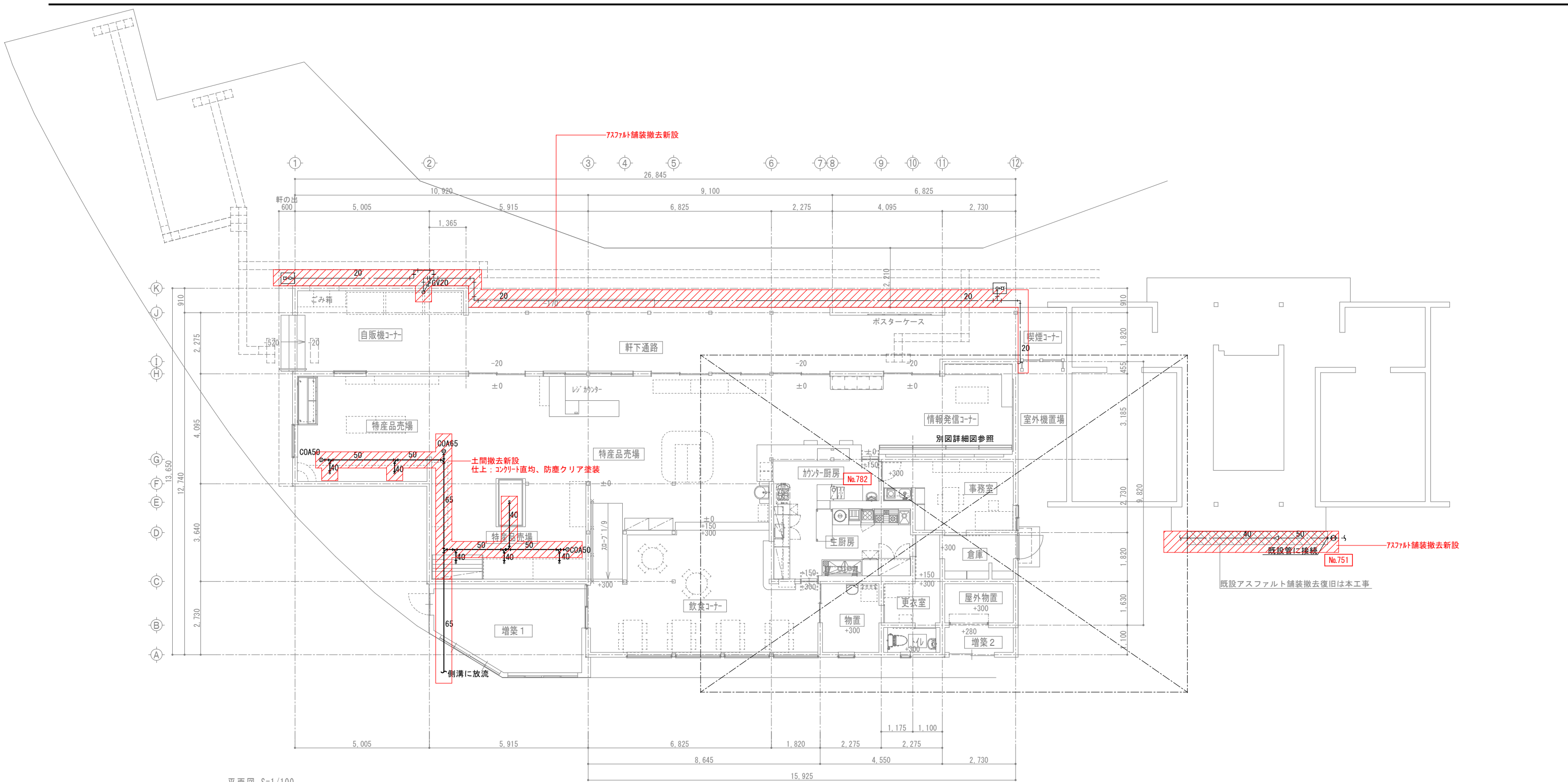
室名 品名品番他(附属品一式付)		屋外	特産品売場	事務室	カウンタ―厨房	主厨房	物置	トイレ		合計	復旧内容
洋風便器	CS597BC SH596BAY TCF584R YH45W							1		1	取外再取付
タオル掛け	YT45S2S							1		1	取外再取付(内部改修)
マルチシンク	SK510D TLS21U TL220D T87A2 TL340C5U TK40P1						1			1	取外再取付(内部改修)
洗濯器パン	PWP640NRW PJ002						1			1	取外再取付
洗面器	L830CRU TEN51A T7PW1		1							1	取外再取付
手洗器	L30D TEN40A TL220D T22BP							1		1	取外再取付
手洗器	L30DM TEN40A TS126AR TL220D T22BP				1					1	取外再取付
化粧鏡	YM4560F 450x600		1							1	―
化粧鏡	YM3545F 350x450				1			1		2	―
横水栓	T131UN13					1				1	取外再取付
混合水栓	TKGG30EC					3				3	取外再取付
緊急止水栓付横水栓	TW11R						1			1	取外再取付
散水栓	T28UNH13 80X(SUS)	2								2	取外再取付
ミニキッチン	YMK10KFH1B100L W1050xD500xH1900 混合水栓・冷蔵庫共			1						1	取外再取付
	換気扇 別途										

機器表

記号	品名	仕様規格	台数	
PD-1	汚物水中ポンプ	汚物中継槽ユニット TAEZS2-200D50(FRP製) 汚物水中ポンプ AU4-506-0.75L, LN (自動交互並列運転)	1	ホッソ撤去新設 (タンク等損傷調査)
		50Φx150L/MINx6.5Mx0.75KWx2台x3Φx200V 汚物チャッキバルブ 着脱装置(SUS製) ガイドパイプ(SUS製)		
		樹脂製槽内配管 マンホール蓋(チャツカープレート1000x800 荷重500KG) かさ上げスパーサー 600H		
		満水警報用フロートスイッチx1個 ケーブル 10M付		
GT-1	グリストラップ	SUS製土間用パイプ式グリース阻集器 HGS-V80PD(SUS蓋付) 許容流入流量 80L/min 標準阻集グリス量 25.2kg	1	撤去新設
		流入流出口径 80A 人荷重仕様SUS製蓋付		
WHG-1	ガス給湯器	給湯専用 GQ-2437WS LPG用 屋外壁掛形 給湯能力 50.0KW リモコン RC-7606M リモコンコードS8A	1	撤去新設
		配管カバ―H33-K-600		
LPG-1	ガス集合装置	50KGx4本 自動切換装置 転倒防止鎖(SUS製) ガスメーター (全て貸与品)	1	(取外取付)

樹リスト

No.	樹名称	樹仕様	樹寸法	管底	マンホール蓋	
A	トラップ樹	塩ビ製小口径樹	UTK 100Ax75-200Φ	-620	IC0-H-200 ・HV-75(ミカケ)	撤去新設
B	インバート樹	〃	WYS 100Ax75-200Φ	-690 50段差	IC0-H-200(ミカケ)	撤去新設
C	〃	〃	HY 100A-200Φ	-720	〃	撤去新設
D	〃	〃	HY 100Ax75-200Φ	-770	〃	撤去新設
E	〃	〃	90L 100A-200Φ	-800	〃	撤去新設
F	〃	〃	HY 100Ax75-200Φ	-860	〃	撤去新設
G	〃	〃	90L 100A-200Φ	-880	〃	撤去新設
					〃	撤去新設



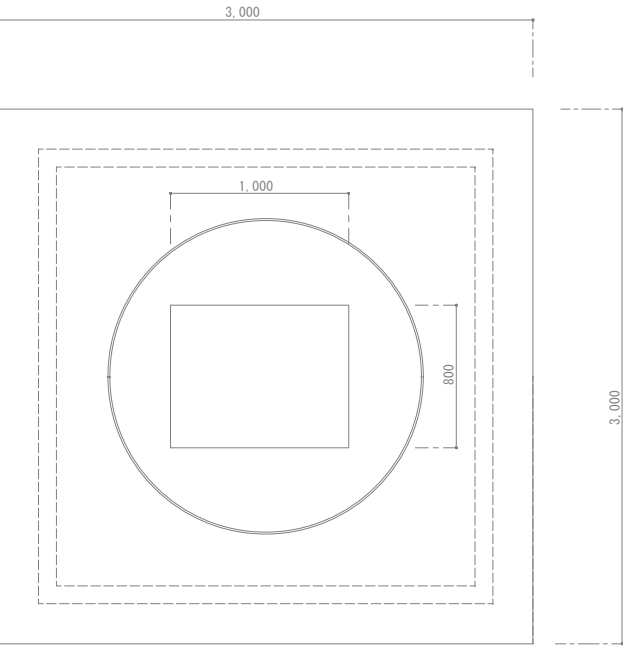
平面図 S=1/100

No.417 給水・排水	
改修内容	
給水	四周かき入れの上、土間・舗装撤去
排水	器具類取外再取付・配管樹撤去新設

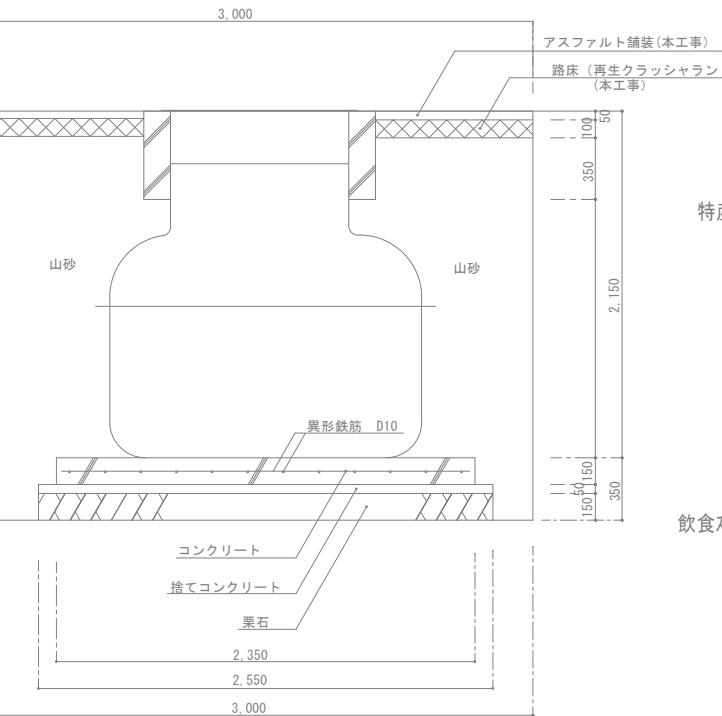
- 器具取外再取付  
配管撤去新設
- 四周かき入れはつり撤去  
土間仕上等復旧範囲

※通水・排水確認はできず。

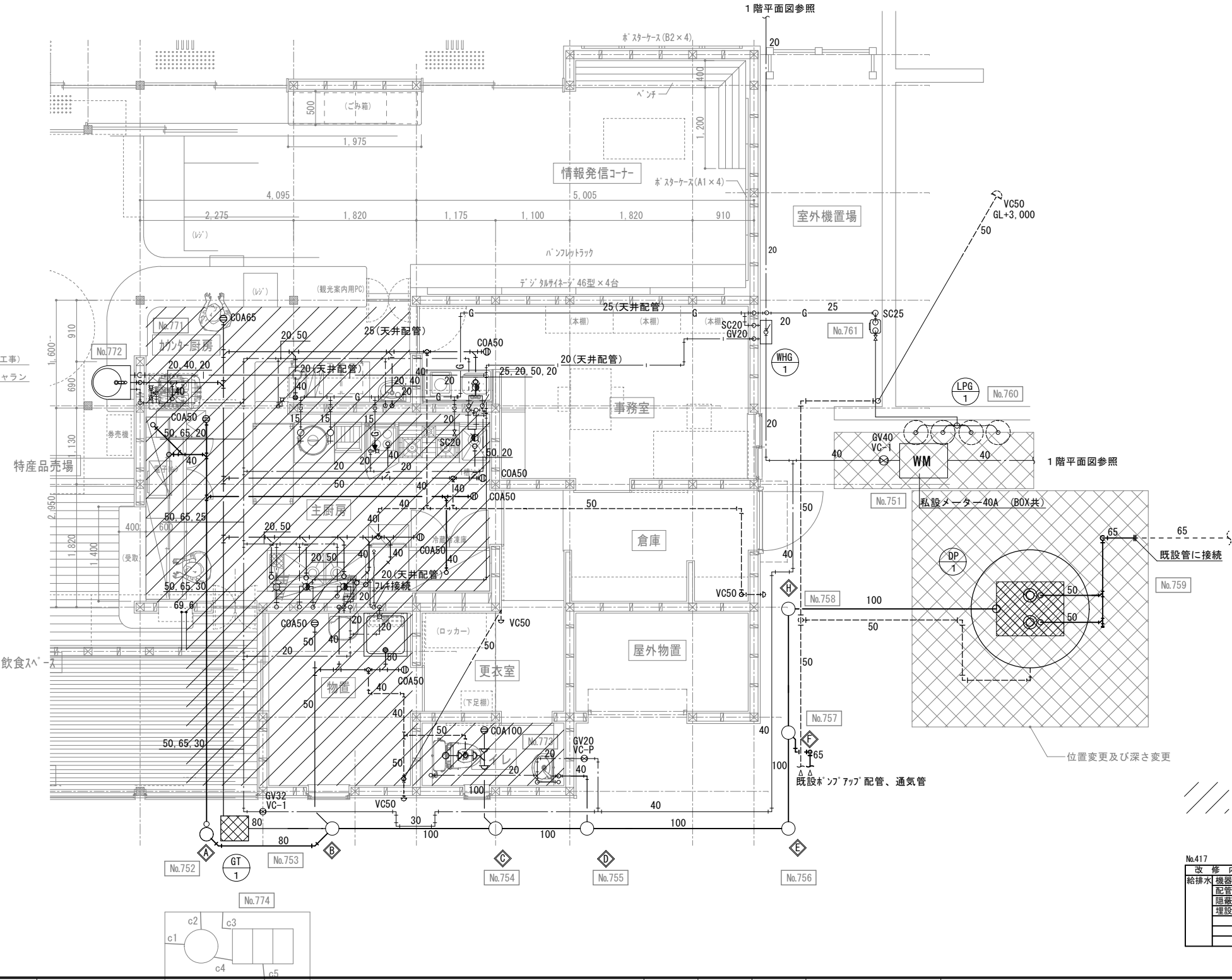
特記事項		<div><div></div>株式会社TONE</div>	〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL(076)222-1046 FAX(076)222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照査	検図	担当	作成 R7年2月28日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  M-07
							縮尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名 損傷図4 給排水衛生設備 平面図	



平面図 S=1/30

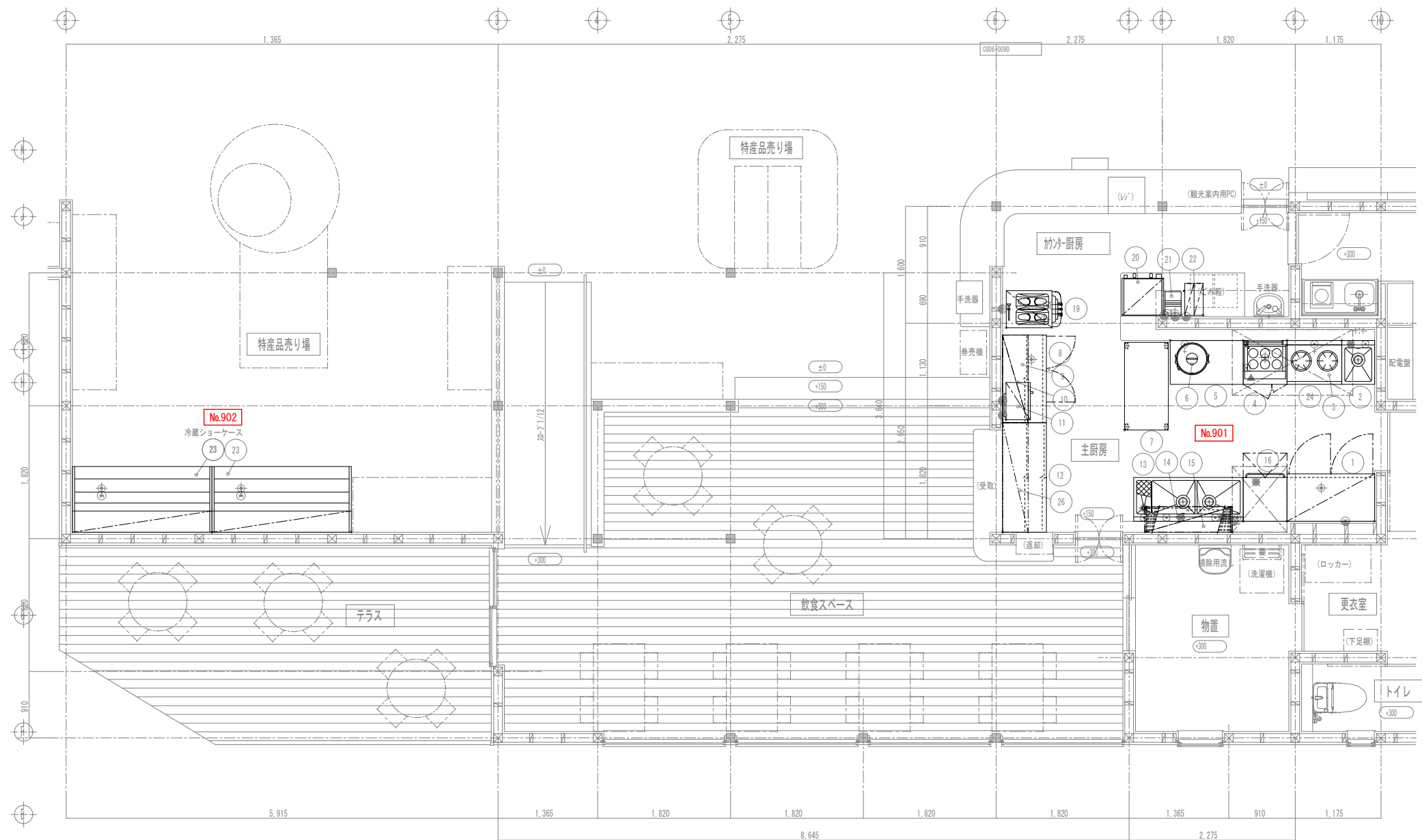


断面図 S=1/30



No.417 給排水衛生設備	
改修内容	
給排水機器類取外再取付	
配管等撤去新設	
隠蔽配管部：仕上撤去新設	
埋設配管部：土間から入溝はつり	
土間・仕上新設	

特記事項			〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL(076)222-1046 FAX(076)222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作 成 R 7 年 2 月 28 日 縮 尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. M-08
								図面名	
								損傷図5 給排水衛生設備 詳細図	















No.417 厨房機器類	
改修内容	
厨房機器類取外再取付	

※作動確認はできず。

特記事項		<div><div></div>株式会社 <b>TONE</b></div>	〒920-0942 石川県金沢市小立野1丁目30番19号 TEL(076)222-1046 FAX(076)222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照査	検図	担当	作成 R7年2月28日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No. M-09
							縮尺 A2 S=1:100 A4 S=1:200	図面名 損傷図6 厨房設備平面図	



## 廚房器具表

No.	品名	MODEL	台数	寸 法 ( 規 格 ) m m			配管接続口径 (A)			ガス(kw)		電 気 ( k w )			フ ィ ド	備 考	復旧内容	
				間 口	奥 行	高 さ	給 水	給 湯	排 水	口径 (A)	消費量	1φ	1φ	3φ				
												100V	200V	200V				
												kw						
1	冷凍冷蔵庫(2室冷凍2室冷蔵) 厚左吊元	SRR- K1261G2 (改)	1	1200	650	1950			40				0.7				冷凍：403リットル 冷蔵：403リットル	取外再取付
2	一槽シンク	TX-1S-45	1	450	600	800	15	15	50									取外再取付
3	ガステーブル	TSGT- 0921	1	900	600	800				20	28.5					連続スパーク点火方式	取外再取付	
4	角型ゆで麺器	TUGS-50	1	500	600	800	15 G.V		40 耐熱管	15	9.3					槽容量35リットル 低輻射タイプ	取外再取付	
5	作業台	TX-WT- 60NBJ	1	600	600	800												取外再取付
6	炊飯器	RR-30S2	1	466	438	424				φ=7 9.5φ	5.6					1.8〜6リットル 3升炊き・低輻射タイプ	取外再取付	
7	移動台	TX-MT- 120	1	1200	600	800												取外再取付
8	冷蔵コールドテーブル	SUR- G1261SA	1	1200	600	800			40			0.3				240リットル	取外再取付	
9	平棚	TX-H- 120L	1	1200	350	一段												取外再取付
10	吊戸棚	TX-HCB- 120H	1	1200	350	900										中棚2段	取外再取付	
11	電子レンジ	NE-710GP	1	510	360	306						1.3						取外再取付
12	調理台	TX-WCT- 120NB	1	1200	600	800										中棚1段	取外再取付	
13	ダスト付二槽シンク	TX-2SD- 150 (R)	1	1500	600	800	15x3	15x2	50x3									取外再取付
14	パイプ棚	TX-P- 120L	1	1200	350	一段												取外再取付
15	吊戸棚	TX-HCB- 120H	1	1200	350	900										中棚2段	取外再取付	
16	食器洗浄機	TDWC- 406UE3	1	600	600	800		15 G.V	40x2 耐熱管						4.2	30〜45ラック/h	取外再取付	
17	電子ジャー	THS-060A	1	460	380	320						0.077				6リットル	取外再取付	
18	炊飯台	TX-R-43N-NB	1	430	590	220										キャスター付き	取外再取付	
19	ソフトクリームフリーザー		1	508	760	1530	15 G.V		40						3.8	【別途支給品】	取外再取付	
20	コーヒーマシーン	ALP- 2GT (P)	1	240	545	560	15 G.V						3.9			ドリップ25リットル/h	取外再取付	
21																		取外再取付
22	コールドドリンクディスペンサー	DS-10WC	1	252	440	572						0.3				10リットル×2	取外再取付	
23	冷蔵セミ多段ショーケース		1	1909	910	1940								1.9			取外再取付	
24	作業台	TX-WT- 45NBJ (改)	1	450	600	500											取外再取付	
25																		取外再取付
26	吊戸棚	TX-HCB- 150	1	1500	350	600										中棚1段	取外再取付	
27	NBガスフライヤー	NB-TCFL- C40456	1	400	450	410				φ=7 9.5φ	5.1					油量12リットル 低輻射タイプ	取外再取付	
28	製氷機	SIM- S2500	1	395	450	800	15 G.V		40			0.3				25kgタイプ	取外再取付	
29	冷蔵多段オープンショーケース		2	900	600	1500						0.3x2		1.2x2			取外再取付	
30	アイランド冷蔵ショーケース		1	1800	1100	850								0.4			取外再取付	
31	冷凍ショーケース		1	1800	752	866						0.3					取外再取付	

総合ガス消費量	48.5 kw
総合電気容量 1φ100V	3.8 kw/h
総合電気容量 1φ200V	3.9 kw/h
総合電気容量 3φ200V	12.7 kw/h

特記事項	 〒920-0942 石川県金沢市小立野 1 丁目30番19号 TEL ( 076 ) 222-1046 FAX ( 076 ) 222-3046 一級建築士事務所 石川県知事登録 第12458号 一級建築士登録 第341008号 構造一級建築士登録 第9504号 中村 賢一	照 査	検 図	担 当	作成 R 7 年 2 月 28 日	工事名 別所岳サービスエリア 広域観光施設 災害復旧工事	No.  M - 1 O
					縮尺 A2 S=N. S. A4 S=N. S.	図面名 損傷図 7 厨房設備機器表	